

日医発第204号（地Ⅲ56）

平成20年5月22日

都道府県医師会

会長 殿

日本医師会

会長 唐 澤 祥



「平成18年国民健康・栄養調査結果の概要」の送付について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、厚生労働省が平成18年11月に実施した国民健康・栄養調査の結果概要について、4月30日に公表され、各都道府県、保健所設置市及び特別区衛生主管部（局）長宛に送付されました。併せて、本会に対しましても情報提供方依頼がありました。

つきましては、「平成18年国民健康・栄養調査結果の概要」を参考までにお送りいたしますので、よろしくご査収のほどお願い申し上げます。

健習発第0430001号

平成20年4月30日

社団法人

日本医師会会長 殿

厚生労働省健康局総務課

生活習慣病対策室長



「平成18年国民健康・栄養調査結果の概要」の送付について

今般、平成18年11月に実施しました国民健康・栄養調査について、別添のとおり概要を本日付けで公表し、各都道府県、保健所設置市及び特別区衛生主管部（局）長あて送付しました。

今後とも、科学的根拠に基づいた適切な情報提供等に関する御支援をよろしくお願いします。

連絡先 厚生労働省健康局総務課
生活習慣病対策室栄養調査係
担当：田中、溝口、須永
TEL 03-5253-1111（内線）2343, 2345
FAX 03-3502-3099

平成18年 国民健康・栄養調査結果の概要について

生活習慣病有病者の状況について

(1) 糖尿病が強く疑われる人は約820万人。糖尿病の可能性が否定できない人は約1,050万人、合わせて約1,870万人と推定される (p. 29)

▼「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定基準▼

- ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンA1cの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人。
- ②「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビンA1cの値が5.6%以上、6.1%未満で、①以外の人。

(参考) (平成14年糖尿病実態調査)

糖尿病が強く疑われる人 約740万人
糖尿病の可能性が否定できない人との合計 約1,620万人

(2) 高血圧症有病者は約3,970万人。正常高値血圧者は約1,520万人、合わせて約5,490万人と推定される (p. 31)

▼「高血圧症有病者」、「正常高値血圧者」の判定基準▼

- ・高血圧症有病者：収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上、または血圧を下げる薬を服用している者。
- ・正常高値血圧者：収縮期血圧130mmHg以上140mmHg未満で、かつ拡張期血圧90mmHg未満の者または、収縮期血圧が140mmHg未満で、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満の者(ただし、薬を服用していない者)。

(注) 高血圧のレベル及び背景要因等を考慮の上、生活習慣指導や薬物治療等が行われる。

メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状況について

40~74歳でみると、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者又は予備群と考えられる者 (p. 34)

40~74歳でみると、強く疑われる者の比率は、男性24.4%、女性12.1%、予備群と考えられる者の比率は、男性27.1%、女性8.2%であり、40~74歳男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者又は予備群と考えられる者であった。

身体活動・運動の状況について

(1) 運動に関する意識では、男性の20~39歳及び70歳以上と女性の15~29歳及び70歳以上では、「実行していないし、実行しようとも考えていない」者が3割以上 (p. 10)

(2) 日常生活で体を動かすことを、「実行していない」者は、男性の20~50歳代、女性の20~40歳代で4割以上 (p. 14)

注)「実行していない」は、「実行していないし、実行しようとも考えていない」「実行していないが、実行しようと考えている」と回答した者。

食習慣の状況について

(1) 朝食の欠食率を年次推移でみると、男女共に高くなる傾向 (p. 20)

朝食の欠食率は、男女共に20歳代で最も高く、男性30.6%、女性22.5%であり、30歳代以降は、年齢が高くなるに従い、低くなっていた。

(2) 夕食の開始時間は、男女共に20~60歳代において、午後9時以降に食べる者の割合が増加 (p. 21)

夕食の開始時間については、男性では、20歳代~60歳代において、午後9時以降に食べる者の割合が増加していた。特に、平成18年は、男性の30歳代、40歳代においては、午後11時以降の者が7.0%以上であった。

平成 1 8 年
国民健康・栄養調査結果の概要

健康局総務課生活習慣病対策室

電話 0 3 - 5 2 5 3 - 1 1 1 1

内線 2 3 4 3, 2 3 4 5

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、健康増進法（平成14年法律第103号）に基づき、国民の身体
の状況、栄養素等摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増
進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査対象及び客体

調査の対象は、平成18年国民生活基礎調査において設定された調査地区内
の世帯の世帯員で、平成18年11月1日現在で満1歳以上の者とした。

調査の客体は、平成18年国民生活基礎調査において設定された調査地区か
ら、層化無作為抽出した300単位区内の世帯及び世帯員とした。

調査実施世帯数は、3,599世帯であり、集計客体数は下記のとおりである。

総数	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	6-14歳(再掲)
身体状況調査	8,060	502	674	350	608	1,051	916	1,298	1,211	1,450	772
血液検査	4,318	-	-	-	284	608	572	877	917	1,060	-
栄養摂取状況調査	9,423	559	815	458	780	1,254	1,101	1,483	1,341	1,632	924
生活習慣調査-I	8,212	-	-	451	795	1,284	1,145	1,515	1,359	1,663	-
生活習慣調査-II	7,952	-	-	432	774	1,246	1,109	1,463	1,320	1,608	-
生活習慣調査 (6歳～14歳用)	974	111 (6歳)	863	-	-	-	-	-	-	-	974

男性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	6-14歳(再掲)
身体状況調査	3,684	248	338	186	275	460	416	586	537	638	389
血液検査	1,753	-	-	-	115	212	208	351	390	477	-
栄養摂取状況調査	4,443	276	422	239	367	583	519	702	618	717	476
生活習慣調査-I	3,795	-	-	235	365	593	537	714	621	730	-
生活習慣調査-II	3,662	-	-	222	359	573	515	688	602	703	-
生活習慣調査 (6歳～14歳用)	497	55 (6歳)	442	-	-	-	-	-	-	-	497

女性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	6-14歳(再掲)
身体状況調査	4,376	254	336	164	333	591	500	712	674	812	383
血液検査	2,565	-	-	-	169	396	364	526	527	583	-
栄養摂取状況調査	4,980	283	393	219	413	671	582	781	723	915	448
生活習慣調査-I	4,417	-	-	216	430	691	608	801	738	933	-
生活習慣調査-II	4,290	-	-	210	415	673	594	775	718	905	-
生活習慣調査 (6歳～14歳用)	477	56 (6歳)	421	-	-	-	-	-	-	-	477

3. 調査項目

1) 身体状況調査票

- ア. 身長、体重（満1歳以上）
- イ. 腹囲（満6歳以上）
- ウ. 血圧（満15歳以上）
- エ. 血液検査（満20歳以上）
- オ. 1日の運動量〈歩行数〉（満15歳以上）
- カ. 問診〈服薬状況、運動〉（満20歳以上）
- キ. 開眼片足立ち（満40歳以上）

2) 栄養摂取状況調査票（満1歳以上）

世帯員各々の食品摂取量、栄養素等摂取量、食事状況〈欠食・外食等〉

3) 生活習慣調査票（満6歳以上）

食生活、身体活動・運動、休養（睡眠）、飲酒、喫煙、歯の健康等に関する生活習慣全般を把握した。特に平成18年調査では、健康日本21における「身体活動・運動」分野推進の基礎データとするため、身体活動・運動に関する知識、態度、行動について把握するとともに、医療制度改革にあたり都道府県健康増進計画に新たに位置づける項目として「健診受診率、保健指導実施率、医療機関受診率」及び食育推進基本計画の目標値に関する項目として「メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の認知度」等についても把握した。

4. 調査時期

- 1) 身体状況調査：平成18年11月
- 2) 栄養摂取状況調査：平成18年11月の特定の1日（日曜日及び祝日は除く）
- 3) 生活習慣調査：栄養摂取状況調査日と同日

5. 調査方法

- 1) 身体状況調査：調査対象者を会場に集めて、調査員である医師、管理栄養士、保健師等が調査項目の計測及び問診を実施した。
- 2) 栄養摂取状況調査：世帯毎に調査対象者が摂取した食品を秤量記録することにより実施し、調査員である管理栄養士等が調査票の説明、回収及び確認を行った。
- 3) 生活習慣調査：留め置き法による自記式質問紙調査を実施した。

6. 調査系統

調査系統は次のとおりである。

厚生労働省－都道府県・政令市・特別区－保健所－国民健康・栄養調査員

この調査結果に掲載している数値は、四捨五入のため、内訳合計が総数に合わないことがある。

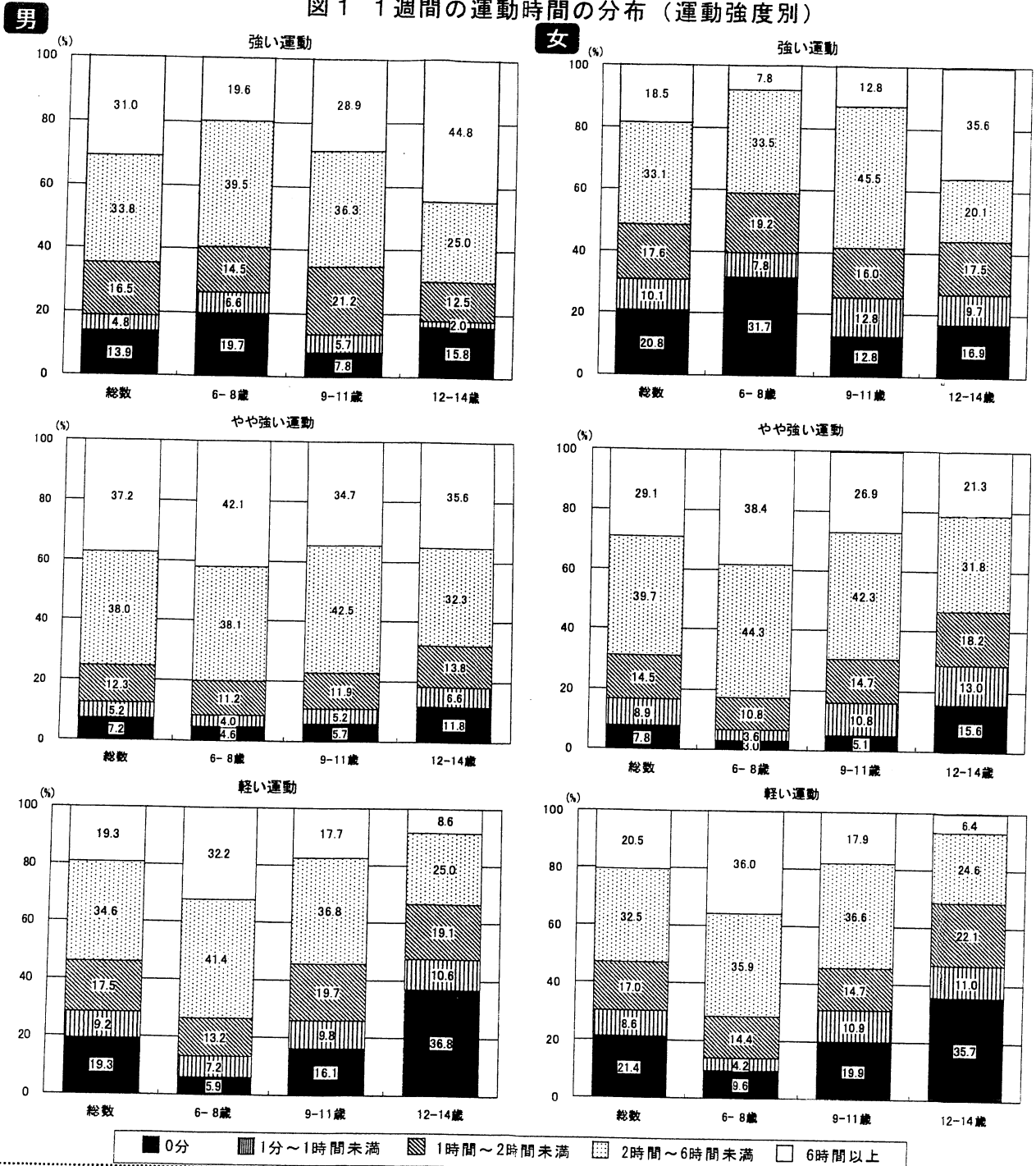
Ⅱ 結果の概要

第1部 子どもの状況

1. 1週間の運動時間

強い運動について、1時間以上運動する者の割合は、男女共に6～8歳に比べ、他の年齢階級は高かった。やや強い運動、軽い運動では、年齢階級が上がるほど0分の者の割合が高かった。

図1 1週間の運動時間の分布（運動強度別）



強い運動の例：
ランニング、サッカー、バスケットボール、バドミントン、ラグビー、ハンドボール、スキー、アイススケート、ローラースケート、水泳、柔道、剣道、空手、きつい自転車こぎ、なわとび、テニス、など

やや強い運動の例：
野球、ソフトボール、卓球、器械体操、軽い自転車こぎ、バレーボール、ドッジボール、軽い水泳、体操、エアロビクス、フォーダンス、ハイキング、鬼ごっこ、外でからだを動かす遊び、など

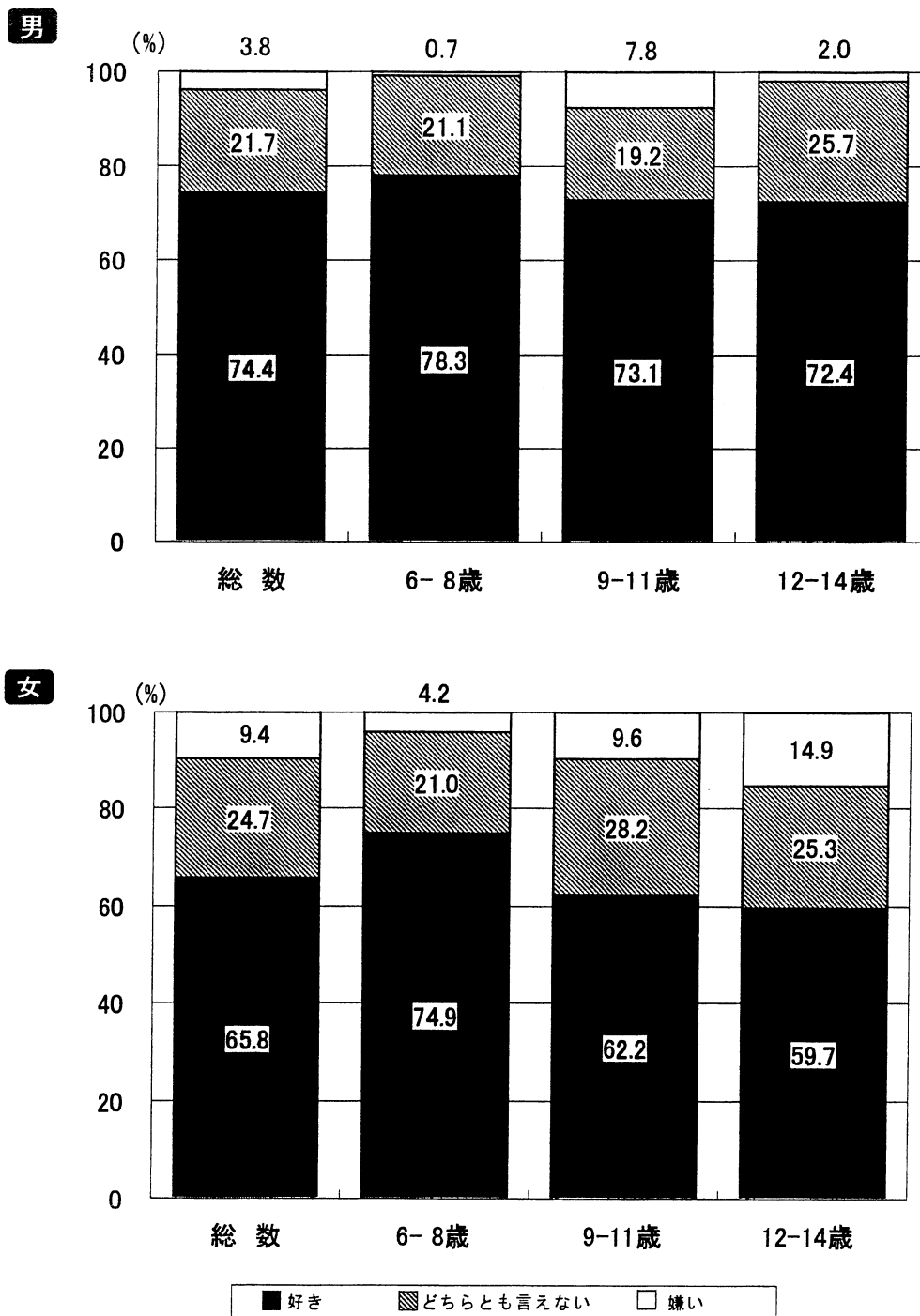
軽い運動の例：
軽い体操、つり、ボーリング、弓道、フリスビー、軽くからだを動かす遊び、など

※いずれも体育の授業も含む。

2. 運動の好き嫌い

運動が好きな者の比率は、男が74.4%、女が65.8%であり、男女共に6～8歳で好きな者の比率が他の年齢階級に比べて高かった。

図2 運動の好き嫌いの比率



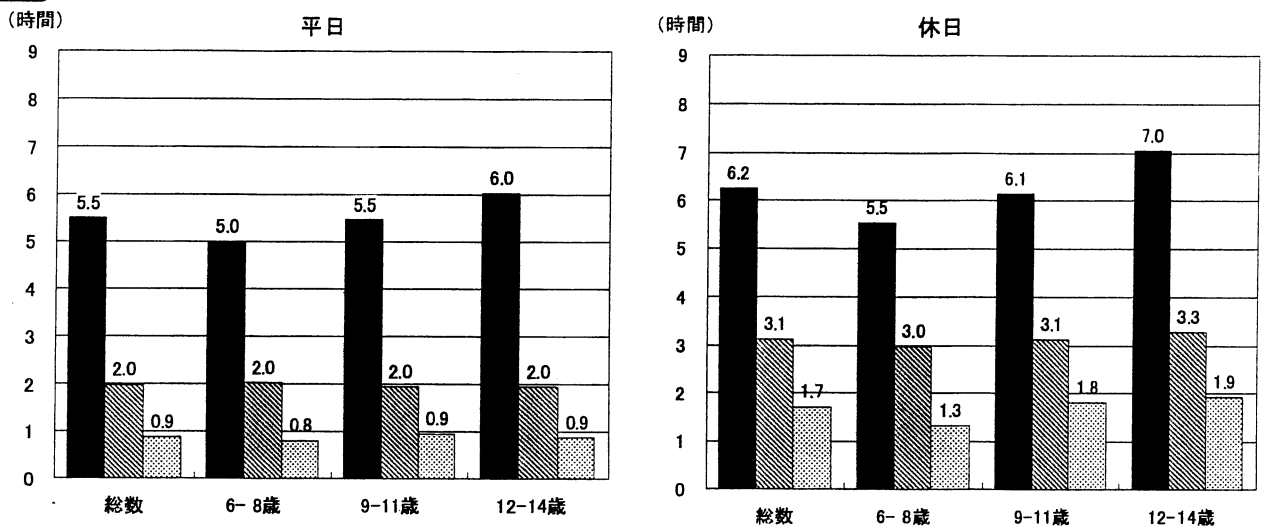
3. 座ったり寝転がったりして過ごす時間

平日、休日共に座ったり寝転がったりして過ごす時間は、男女共に、年齢階級が高いほど、長い傾向であった。

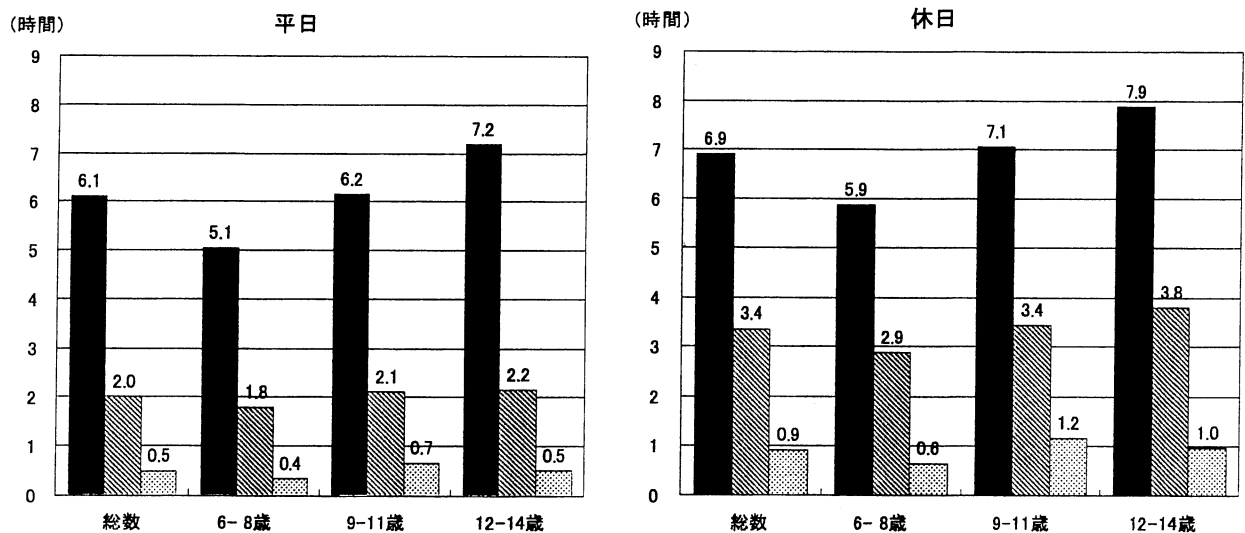
そのうち、テレビ・ビデオを見る時間は、男女共に平日約2時間、休日約3時間であった。

図3 座ったり寝転がったりして過ごす時間の分布

男



女



■ 座ったり寝転がったりして過ごす時間* ▨ (内訳) テレビ・ビデオを見る時間 ▤ (内訳) コンピューターを使用したり、テレビゲームを行う時間

*座ったり寝転がったりして過ごす時間とは、机やコンピューターに向かう時間（勉強や読書などを含む）、テレビをみる時間、座って会話をする時間、車に乗っている時間、電車で座っている時間などを含む。ただし、睡眠時間は含まない。

4. 親子で一緒に外で遊ぶ回数

親子で一緒に外で遊ぶことがある者は、男女共に約5割であり、年齢とともに、低くなる傾向であった（図4-1）。うち、週1日が約7割であった（図4-2）。

図4-1 親子で一緒に外で遊ぶ機会の有無

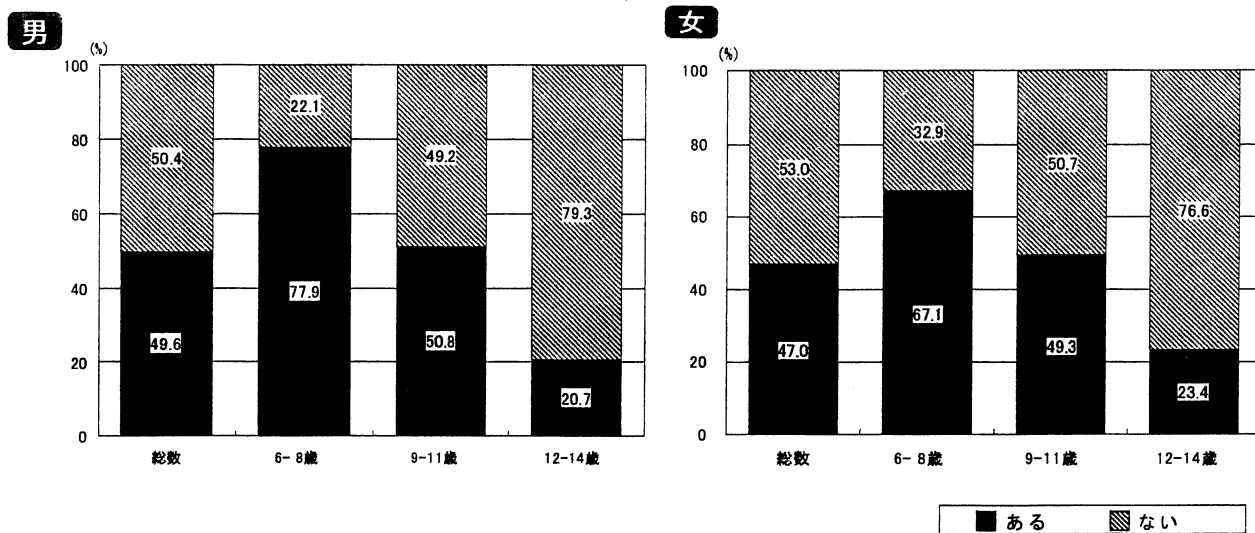
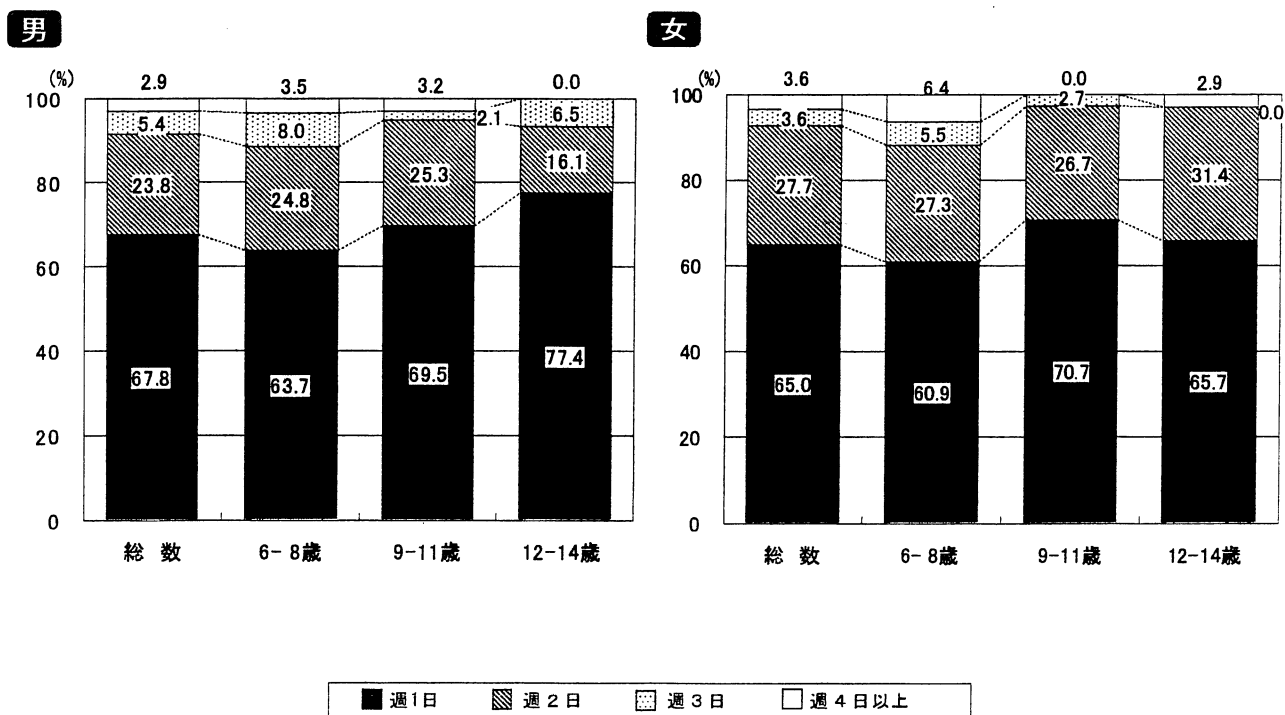


図4-2 親子で一緒に外で遊ぶ回数の分布



※図4-1で「ある」と回答した者の内訳

第2部 身体状況及び生活習慣等の状況

1. 肥満とやせの状況

男性では、全ての年齢階級においても、肥満者の割合が20年前(昭和61年)、10年前(平成8年)と比べて増加していた。

女性では、40歳代において肥満者の割合が20年前、10年前と比べて減少している一方で、20歳代の約2割が低体重(やせ)であった。

男女共に70歳以上において低体重(やせ)の者の割合が減少していた(図5-1)。

図5-1 肥満とやせの状況の推移(20歳以上)[①20年前(昭和61年)・②10年前(平成8年)・③平成18年]

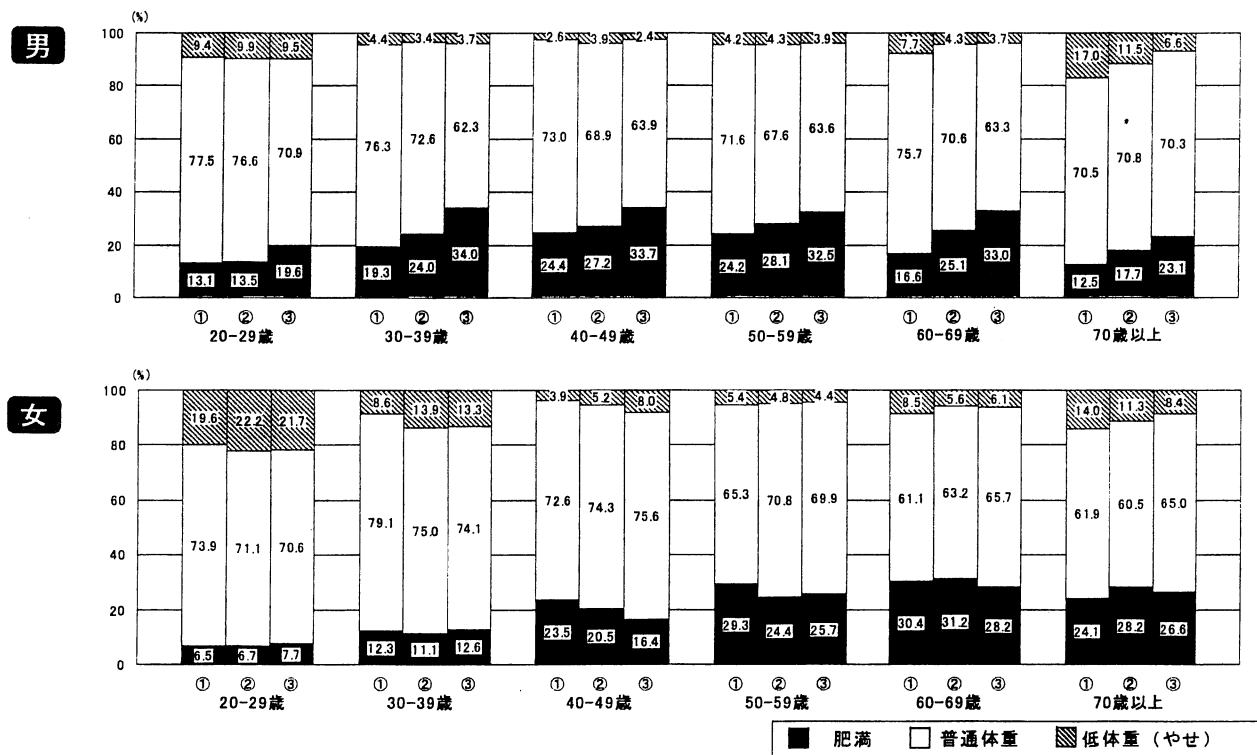
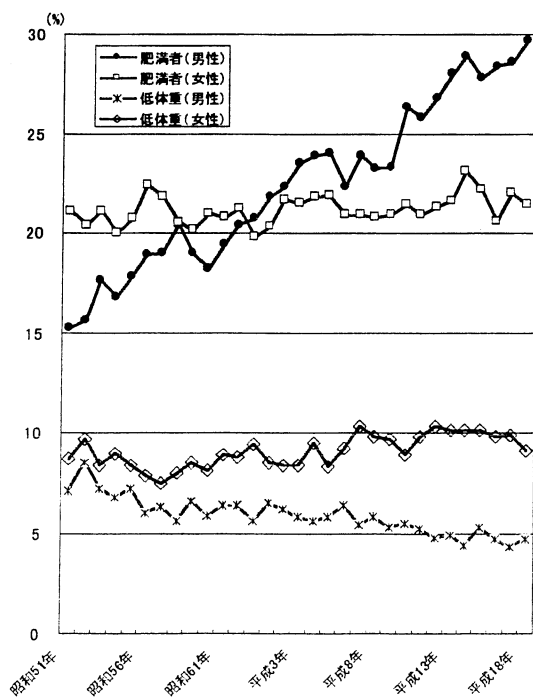


図5-2 肥満とやせの状況の推移(20歳以上)



肥満変: BMI (Body Mass Index) を用いて判定
 $BMI = \text{体重}(\text{kg}) / (\text{身長}(\text{m}))^2$ により算出
 $BMI < 18.5$ 低体重(やせ)
 $18.5 \leq BMI < 25$ 普通体重(正常)
 $BMI \geq 25$ 肥満
 (日本肥満学会・肥満診断基準検討委員会, 2000年)

(参考) 表 肥満とやせの状況の推移(20歳以上)

年次	肥満者		低体重(やせ)		年次	肥満者		低体重(やせ)	
	男性	女性	男性	女性		男性	女性	男性	女性
昭和51年	15.2	21.1	7.1	8.7	平成4年	23.9	21.8	5.6	9.5
昭和52年	15.6	20.4	8.5	9.7	平成5年	24.0	21.9	5.8	8.3
昭和53年	17.6	21.1	7.2	8.4	平成6年	22.3	20.9	6.4	9.2
昭和54年	16.8	20.0	6.8	9.0	平成7年	23.9	20.9	5.4	10.3
昭和55年	17.8	20.7	7.2	8.4	平成8年	23.2	20.8	5.8	9.8
昭和56年	18.9	22.4	6.0	7.9	平成9年	23.3	20.9	5.3	9.7
昭和57年	19.0	21.8	6.3	7.5	平成10年	26.3	21.4	5.5	8.9
昭和58年	20.4	20.5	5.6	8.0	平成11年	25.8	20.9	5.2	9.8
昭和59年	19.0	20.1	6.6	8.5	平成12年	26.8	21.3	4.8	10.3
昭和60年	18.2	21.0	5.9	8.1	平成13年	28.0	21.6	4.9	10.1
昭和61年	19.4	20.8	6.4	8.9	平成14年	28.9	23.1	4.4	10.1
昭和62年	20.4	21.2	6.4	8.8	平成15年	27.8	22.2	5.3	10.1
昭和63年	20.7	19.8	5.6	9.4	平成16年	28.4	20.6	4.7	9.8
平成元年	21.8	20.3	6.5	8.5	平成17年	28.6	22.0	4.3	9.9
平成2年	22.3	21.7	6.2	8.4	平成18年	29.7	21.4	4.7	9.1
平成3年	23.5	21.5	5.8	8.4					

2. 1週間の運動時間

1週間の運動時間で、全く行わない者（0分の者）の割合は、男女共に20～50歳代で約3割であった（図6-1）。

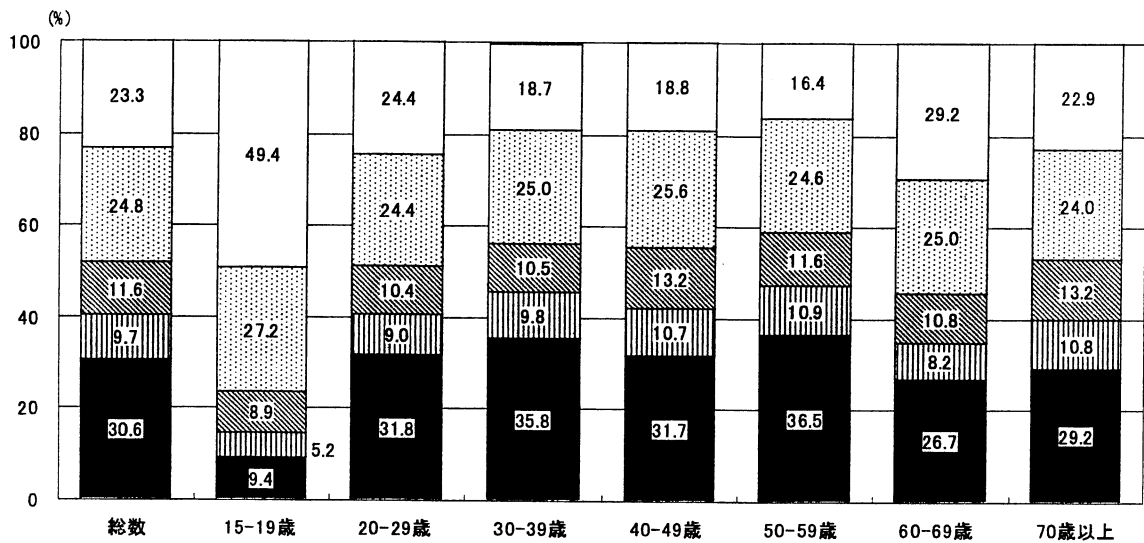
強度別1週間の運動時間で、強い運動・やや強い運動を全く行わない者（0分の者）は、男女共に約8割であった（図6-2）。年齢階級別にみると、1時間以上の者の割合は、男女共に15～19歳が他の年齢階級に比べ最も高く、年齢とともに低くなる傾向であった。

また、軽い運動・非常に軽い運動を全く行わない者（0分の者）の割合は男性約6割、女性約5割であった（図6-3）。

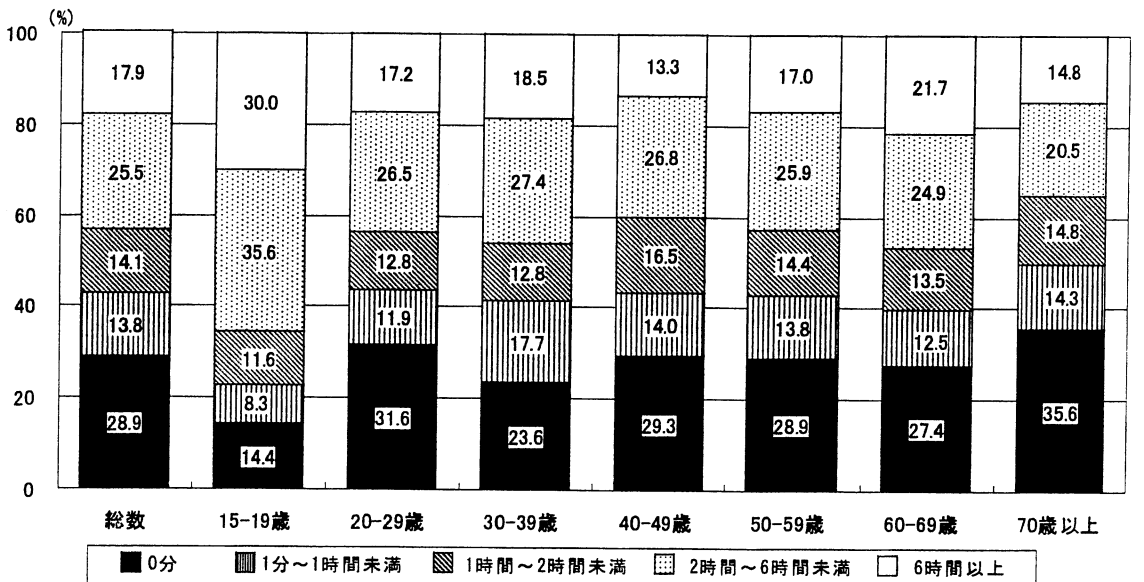
図6-1 1週間の運動時間

（まとめ：①強い運動・②やや強い運動・③軽い運動・④非常に軽い運動）

男



女



強い運動の例：

ジョギング、エアロビクス、サッカー、テニス、スキー、スケート、水泳、登山、柔道、空手、その他の強い運動

やや強い運動の例：

ウォーキング（速歩）、ジャズダンス、バスケットボール、水泳（ゆっくり）、水中運動（アクアビクスなど）、太極拳、卓球、ソフトボール、野球、ウェイトトレーニング（高強度）、ゴルフ（カートを使わない）、その他のやや強い運動

軽い運動の例：

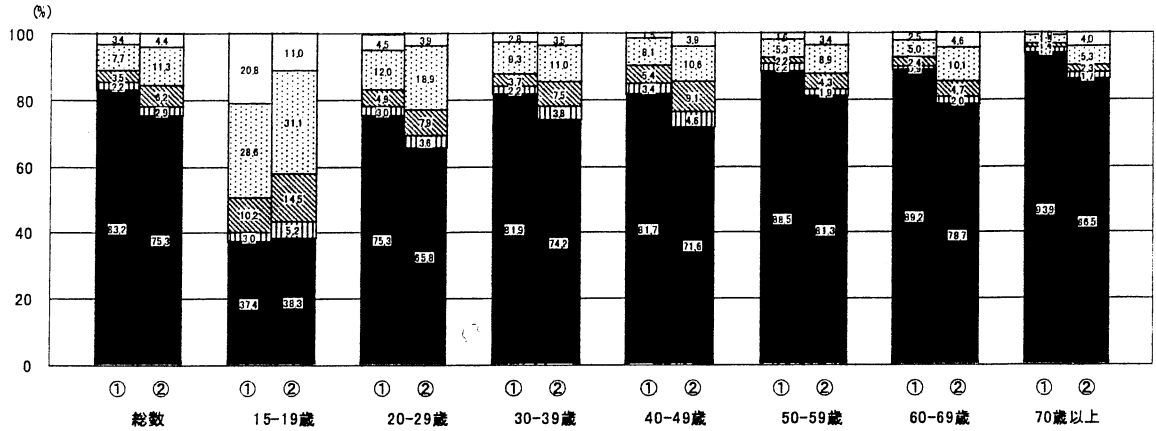
ウォーキング（通常の歩行速度）、ボーリング、フリスビー、体操（ラジオ体操など）、ゴルフ（カートを使う）、ウェイトトレーニング（軽・中等度）、その他の軽い運動

非常に軽い運動の例：

散歩（ゆっくりした歩行）、ストレッチング、ヨガ、キャッチボール、ゲートボール、その他の非常に軽い運動

図6-2 1週間の運動時間(①強い運動・②やや強い運動)

男



女

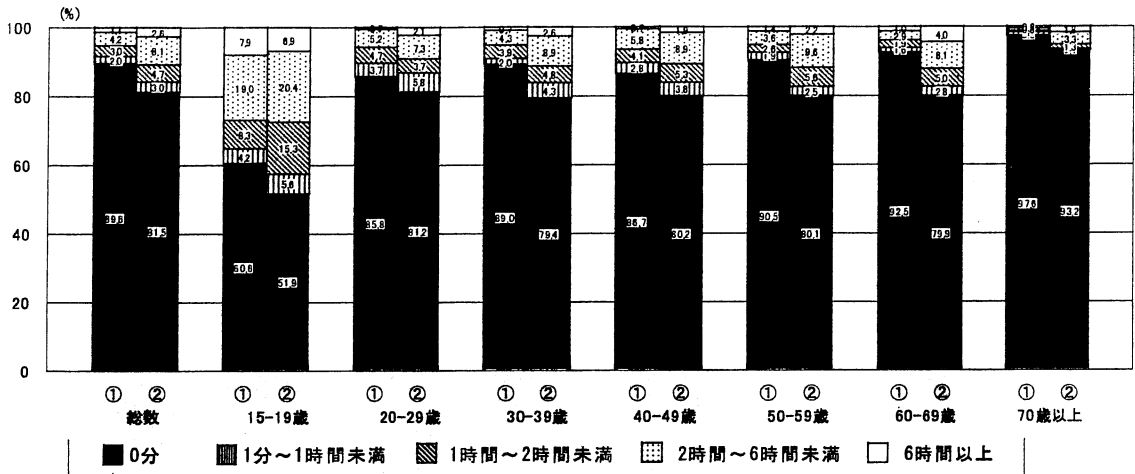
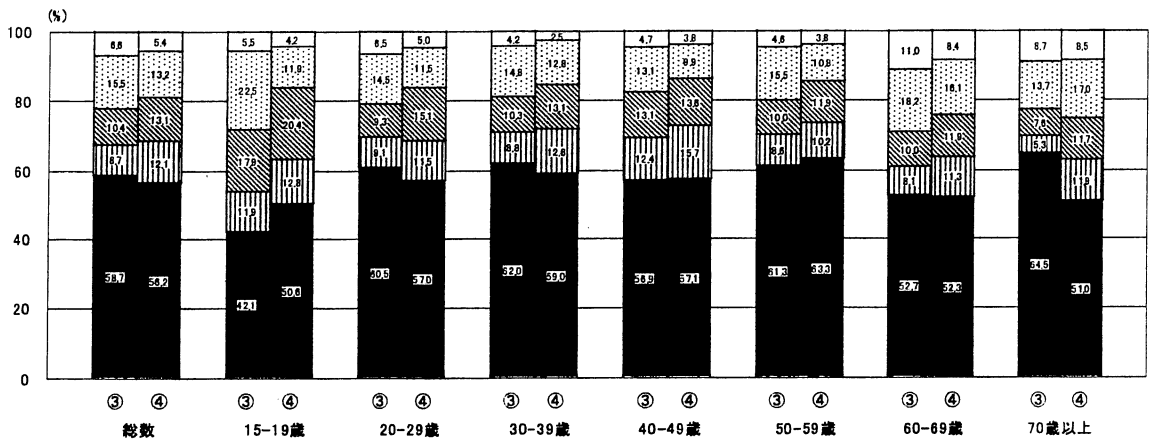
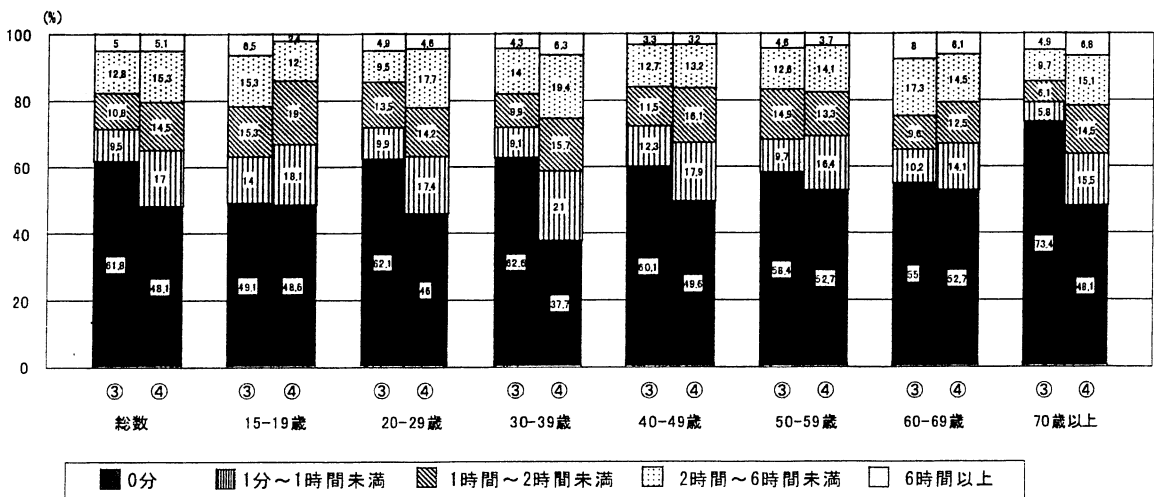


図6-3 1週間の運動時間(③軽い運動・④非常に軽い運動)

男



女

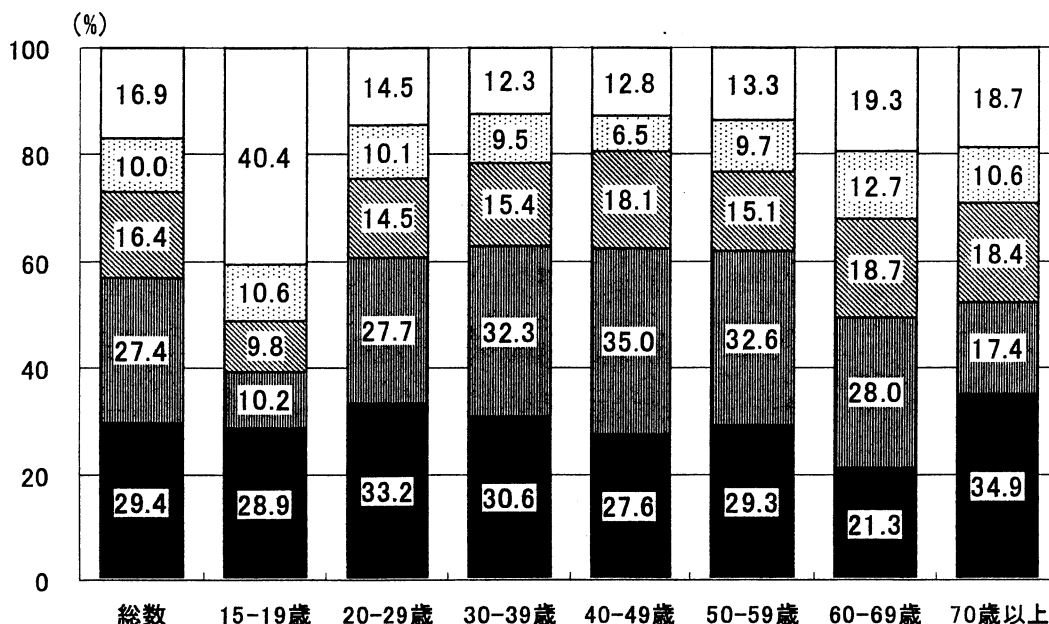


3. 運動に関する意識

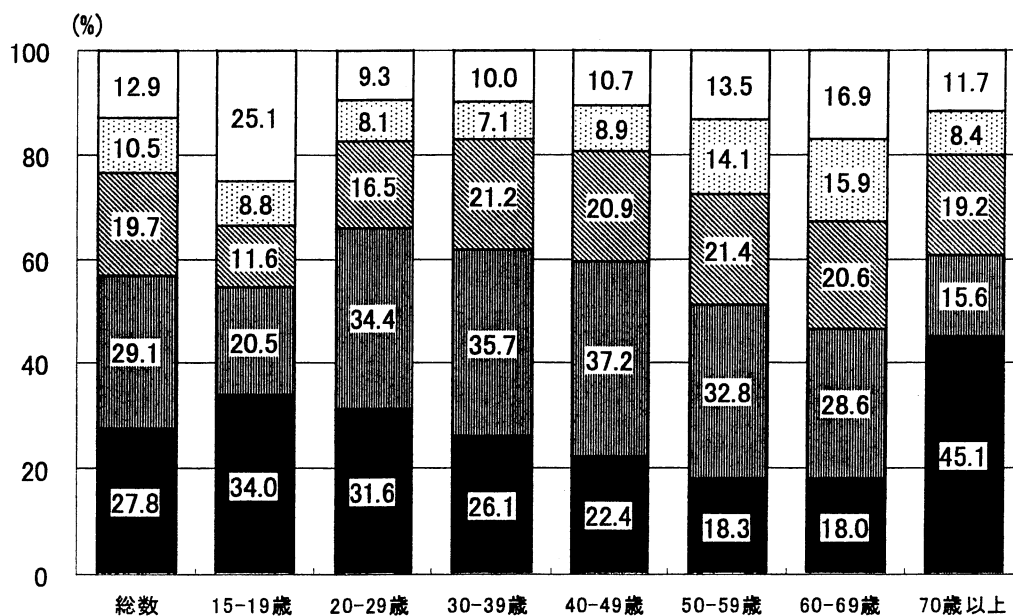
運動に対する意識では、「実行していて、十分に習慣化している」者の比率は、男女共に15～19歳が他の年齢に比べて最も高く、男性40.4%、女性25.1%であった。一方、男性の20～39歳及び70歳以上と、女性の15～29歳及び70歳以上では、「実行していないし、実行しようとも考えていない」者が30%以上であった。

図7 運動に関する意識

男



女



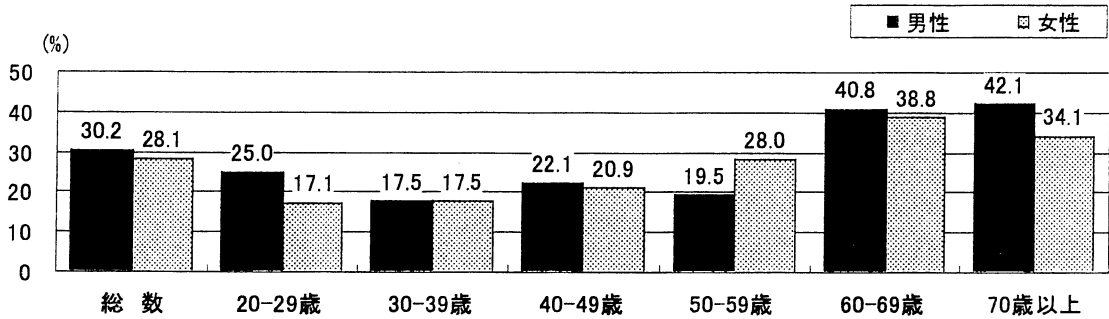
この問でいう運動とは、「健康維持・増進のためには、速歩のようなやや強い運動を1週間で合計60分間（ジョギングのような強い運動ならば合計35分間程度）以上行うこと。」を指す。

- 実行していて、十分に習慣化している
- ◻ 実行しているが、まだ習慣化していない
- ▨ 実行しようとしているが、十分に実行できていない
- ▧ 実行していないが、実行しようと考えている
- 実行していないし、実行しようとも考えていない

4. 運動習慣者

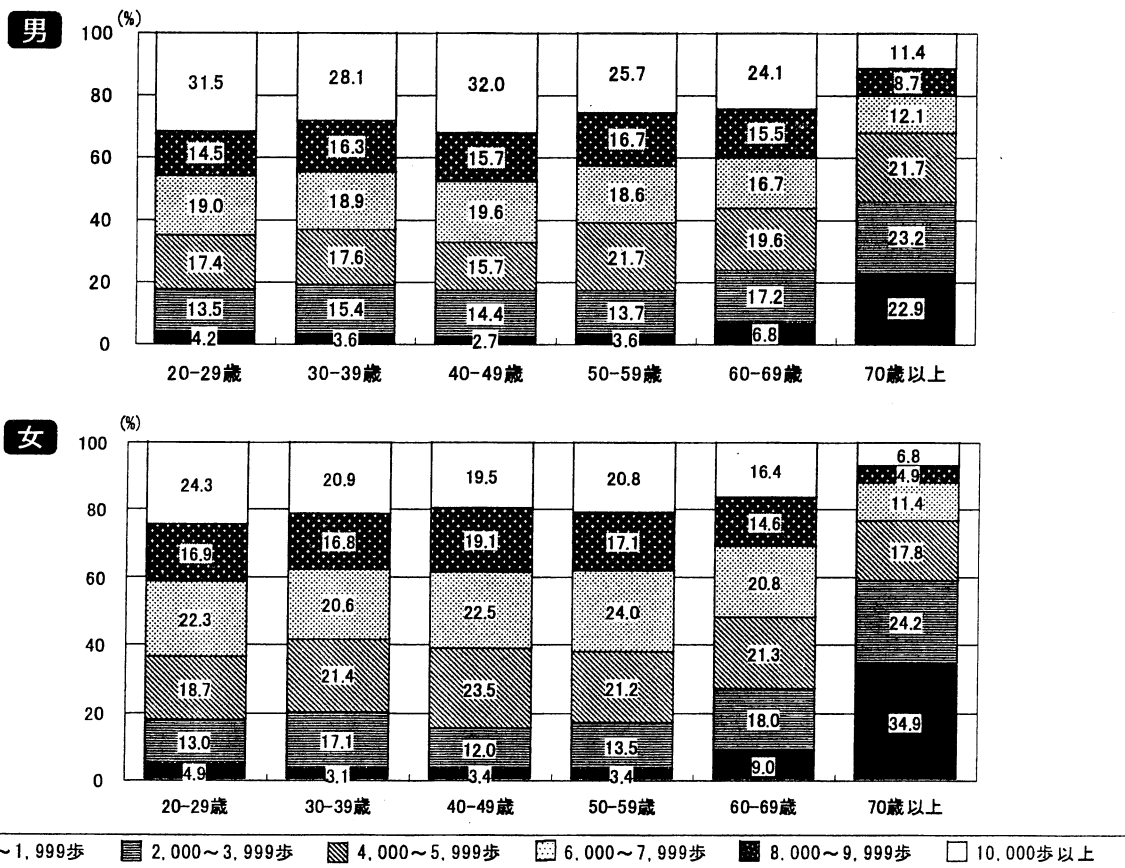
運動習慣者の比率は、男女共に約30%であり、男性では30歳代が最も低く17.5%、女性では20歳代が最も低く17.1%であった。

図8 運動習慣者の比率

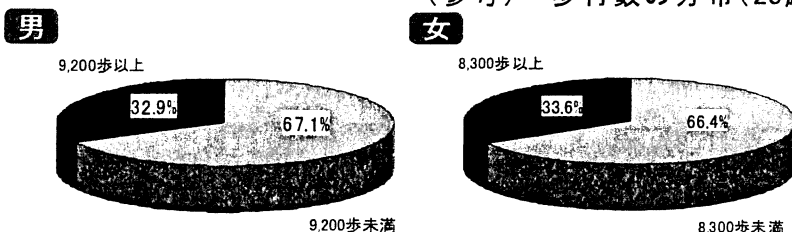


運動習慣のある者：1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続している者

図9 歩行数の分布(20歳以上)



(参考) 歩行数の分布(20歳以上)



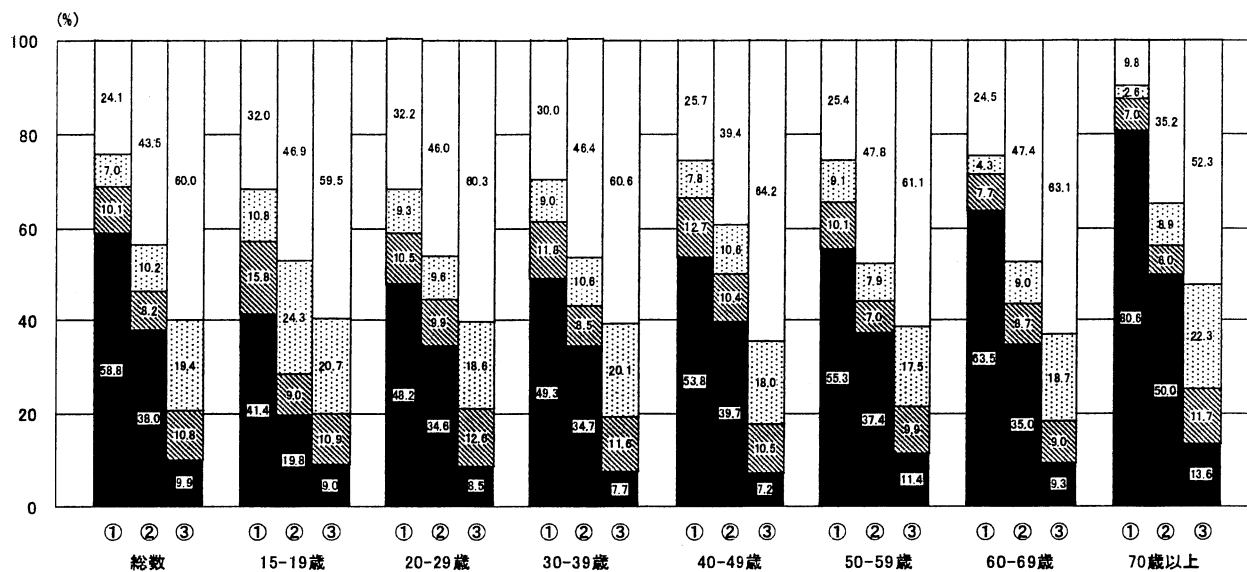
(参考)
「健康日本21」の目標値
日常生活における歩数
成人男性 9,200歩以上
成人女性 8,300歩以上

5. 1日の生活活動

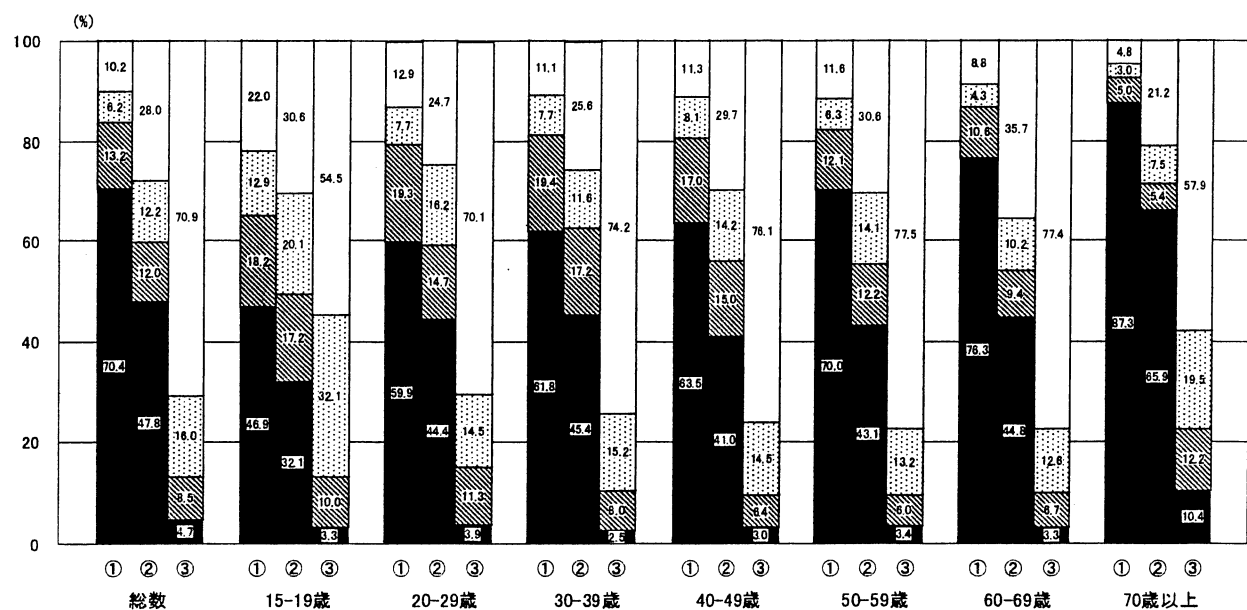
1日の生活活動は、平日では、強い生活活動が1時間以上の者の比率は、男女共に年齢が高くなるほど低くなる傾向（図10-1, 10-2）。

図10-1 平日の生活活動(①強い生活活動・②やや強い生活活動・③軽い生活活動)

男



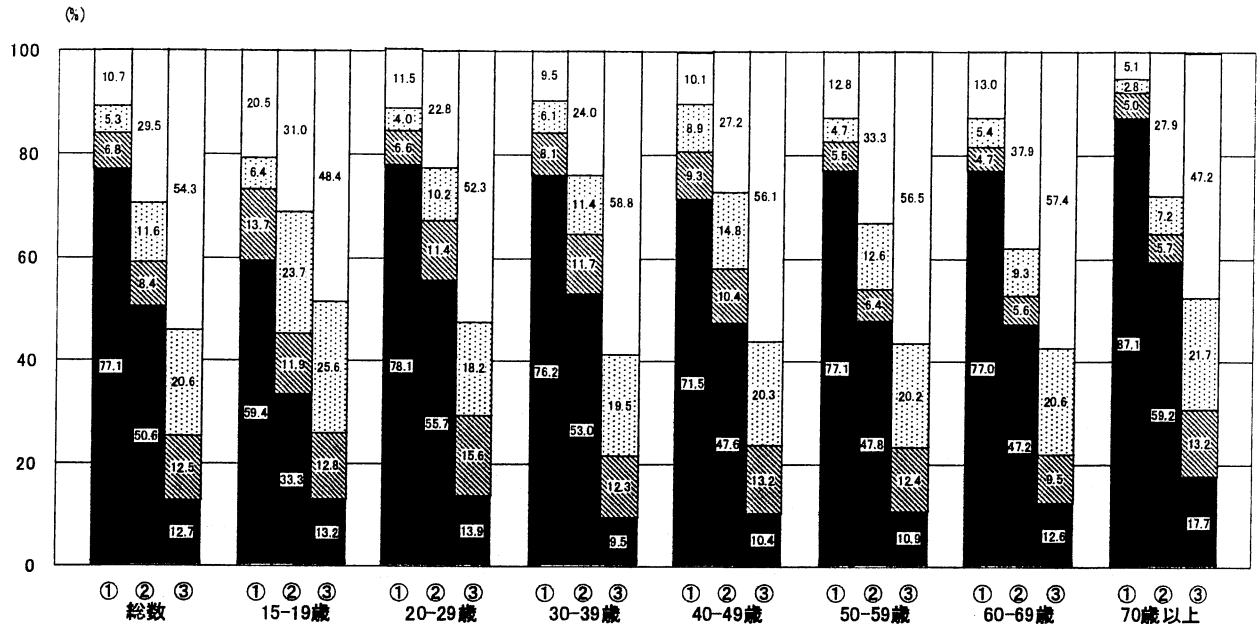
女



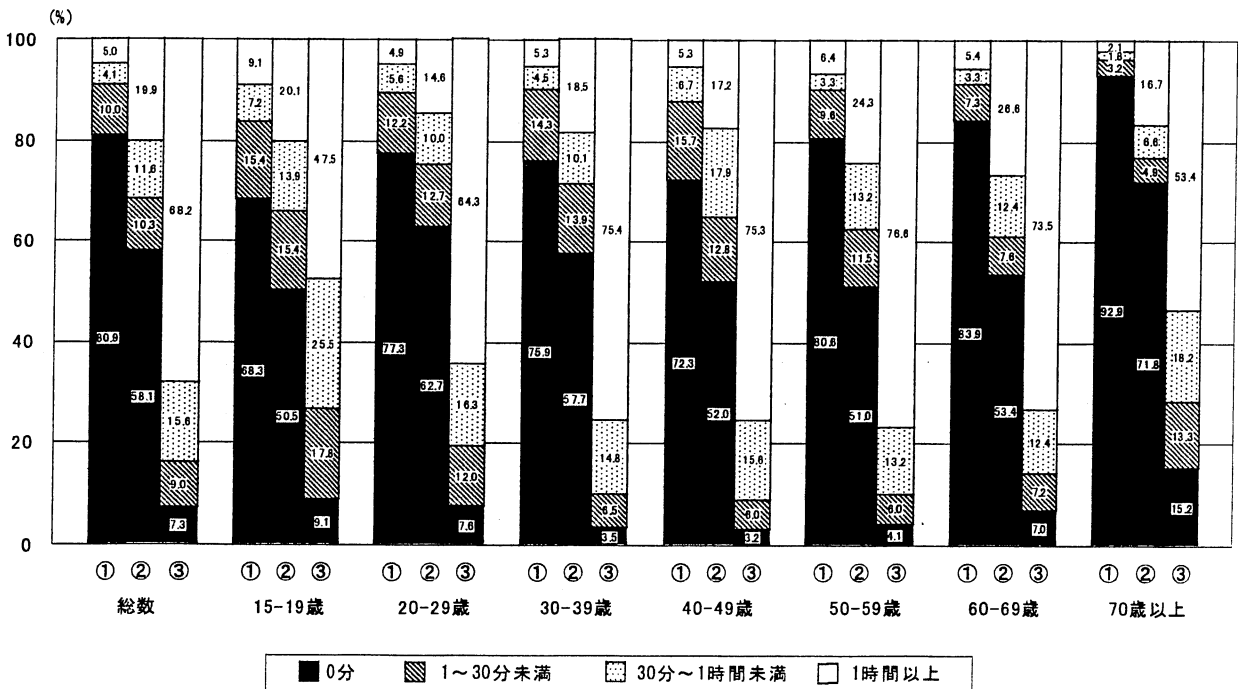
■ 0分 ▨ 1~30分未満 ▩ 30分~1時間未満 □ 1時間以上

図10-2 休日の生活活動(①強い生活活動・②やや強い生活活動・③軽い生活活動)

男



女



■ 0分 ▨ 1~30分未満 ▩ 30分~1時間未満 □ 1時間以上

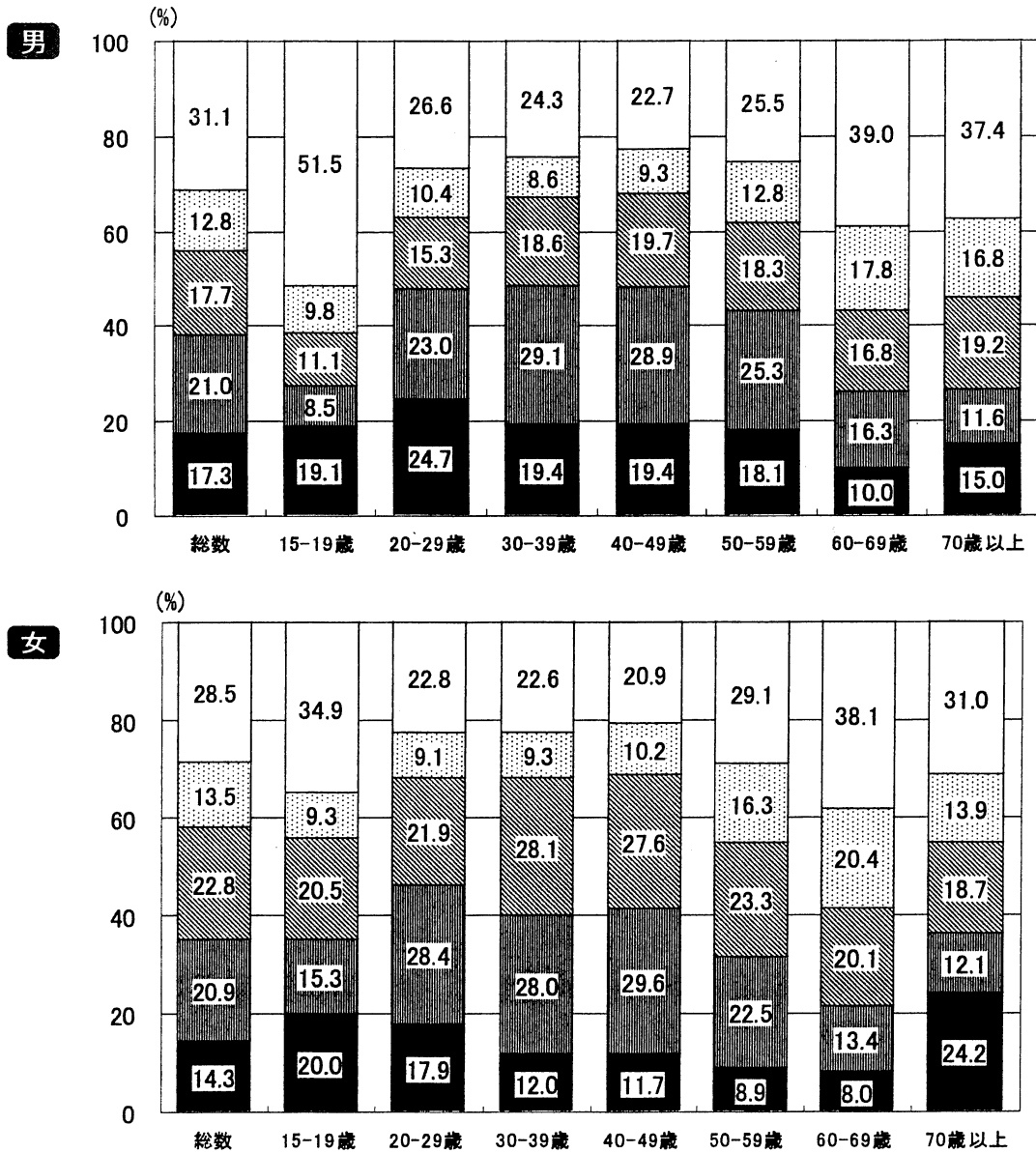
生活活動の強さ	「強い生活活動」を行った時間	「やや強い生活活動」を行った時間	「軽い生活活動」を行った時間
強さの目安	「ジョギング」程度 強い農作業、工事現場の仕事	「散歩」程度 農作業、工事現場の仕事	「普通歩行」程度 軽く体を動かす仕事
生活活動例	<ul style="list-style-type: none"> ・重い荷物を運ぶ ・荷物を上の階へ運ぶ ・階段を上る ・シャベルを使った作業 ・干草をまとめる ・納屋の掃除 ・その他の強い生活活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車での移動 (レジャー、通勤、娯楽など) ・軽い荷物の運搬 ・庭仕事 ・家具の移動 ・家畜に餌を与える ・重機の運転 ・その他のやや強い生活活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活 (通勤・通学・買い物など) での普通の速さの歩行 ・床掃除 ・掃除機かけ ・車の荷物の積み下ろし ・洗濯 ・犬の散歩 ・階段を降りる ・その他の軽い生活活動

6. 日常生活で体を動かすことに関する意識

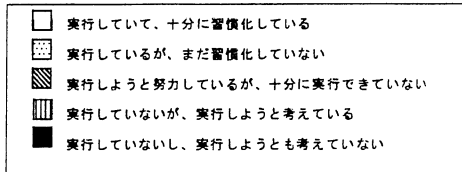
日常生活で体を動かすことを、「実行していない」者は、男性の20～50歳代、女性の20～40歳代で4割以上。

日常生活で体を動かすことに関する意識では、「実行していて、十分に習慣化している」者の比率は、男性では15～19歳が他の年齢に比べて高く51.5%、女性は60～69歳が他の年齢に比べて高く38.1%であった。

図11 日常生活で体を動かすことに関する意識



この間でいう日常生活で体を動かすこととは、「日常生活で、毎日60分間くらい体を動かす（歩く、自転車に乗る、体を動かして作業を行うなど）ような生活をする事。」を指す。

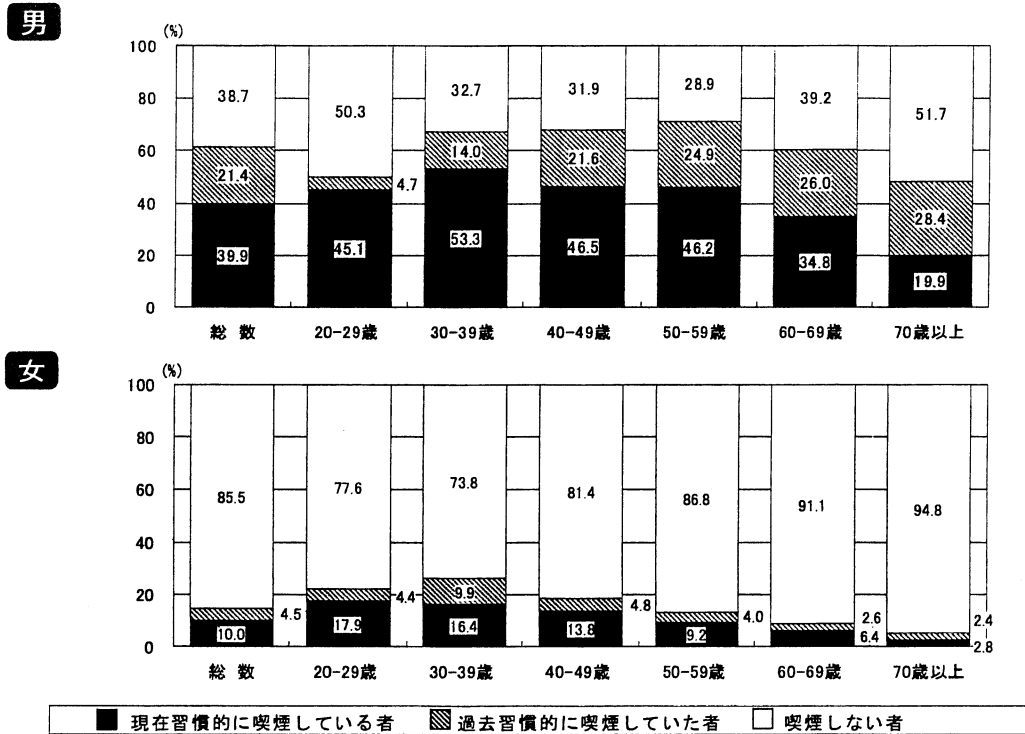


7. 喫煙の状況

現在習慣的に喫煙している者の割合は、男女共に20～30歳代が高く、男性で約5割、女性で約2割。

現在習慣的に喫煙している者の比率は、男性では30歳代が最も高く53.3%、20歳代で45.1%、女性では20歳代が最も高く17.9%、30歳代で16.4%であった。

図12-1 喫煙の状況（20歳以上）



現在習慣的に喫煙している者：

これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている(吸っていた)者のうち、「この1ヶ月間に毎日又は時々たばこを吸っている」と回答した者

過去習慣的に喫煙していた者：

これまで合計100本以上又は6ヶ月以上たばこを吸っている(吸っていた)者のうち、「この1ヶ月間にたばこを吸っていない」と回答した者

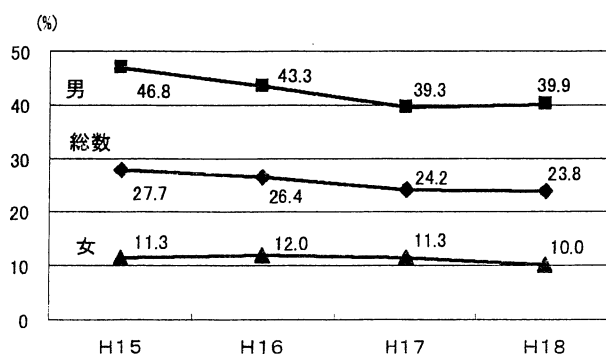
喫煙しない者：

「まったく吸ったことがない」又は「吸ったことはあるが、合計100本未満で6ヶ月未満である」と回答した者

喫煙率は男女共に平成15年に比べ低下し、男性は4割を下回っていた。

喫煙率の年次推移をみると、男女共に平成15年に比べ低下し、男性39.9%、女性10.0%であった。

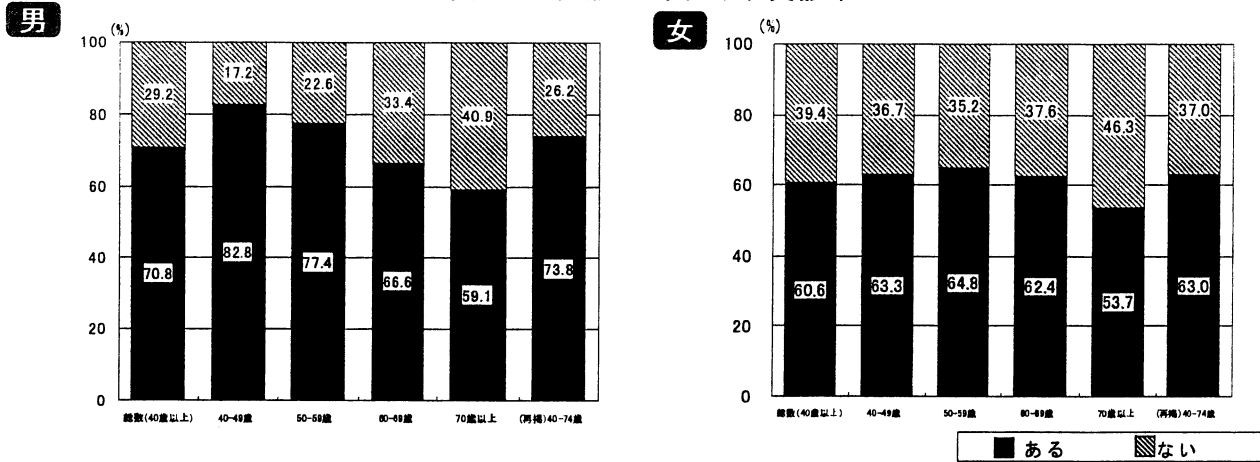
図12-2 喫煙率の年次推移（20歳以上）



8. 健診・人間ドックでの受診状況

40歳以上において、過去1年間に健診や人間ドックを受けたことがある者は、男性約7割、女性約6割であった。

図13 健診・人間ドック受診率



過去1年間に健診や人間ドックを受けたことがある者のうち、健診の結果、肥満や高血圧、糖尿病などの指摘を受けたことのある者の割合は、男女共に約6割であった(図14)。そのうち、40~74歳が受けた指摘の内容としては、男女共に脂質異常が最も多く、男性約5割、女性約6割であった(図15)。

図14 健診・人間ドックでの指摘の有無

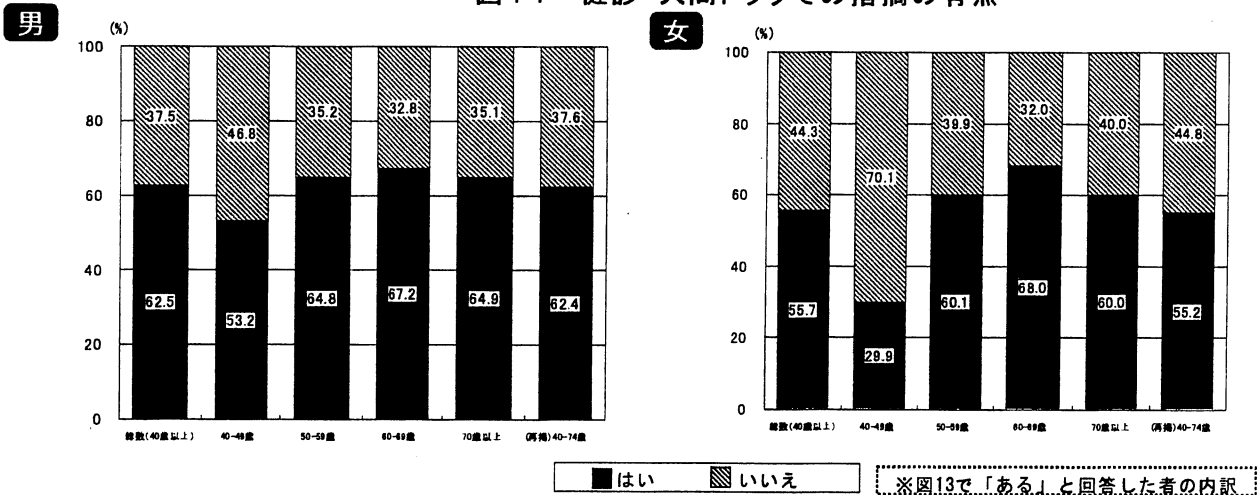
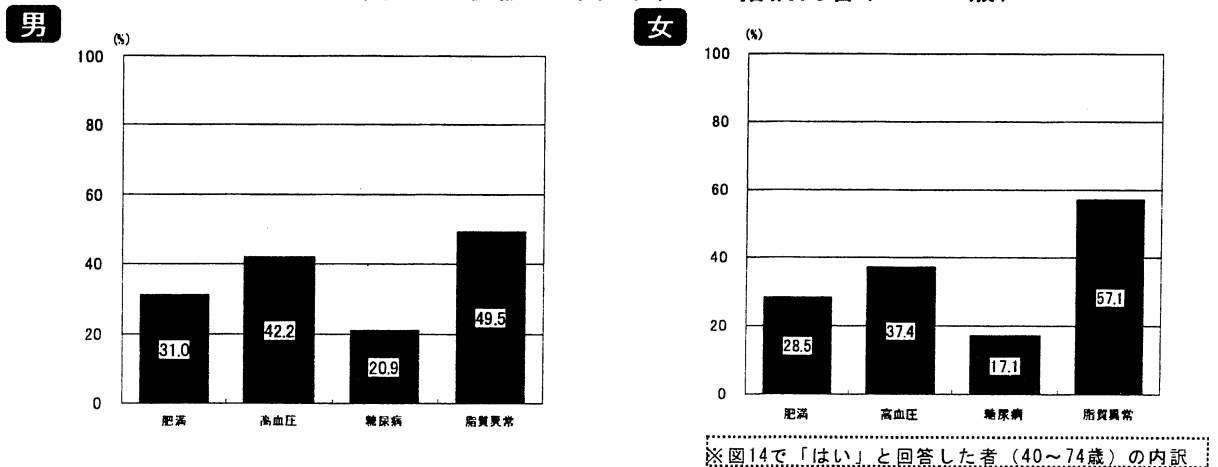


図15 健診・人間ドックでの指摘内容(40~74歳)



9. 医療機関の受診状況

40歳以上において、健診の結果、指摘を受けたことがある者のうち、医療機関の受診を勧められた者は、男女共に約6割であり（図16）、そのうち最終的に医療機関に行った者は、男女共に約9割（図17）。

図16 健診の結果、医療機関の受診を勧められた者の比率

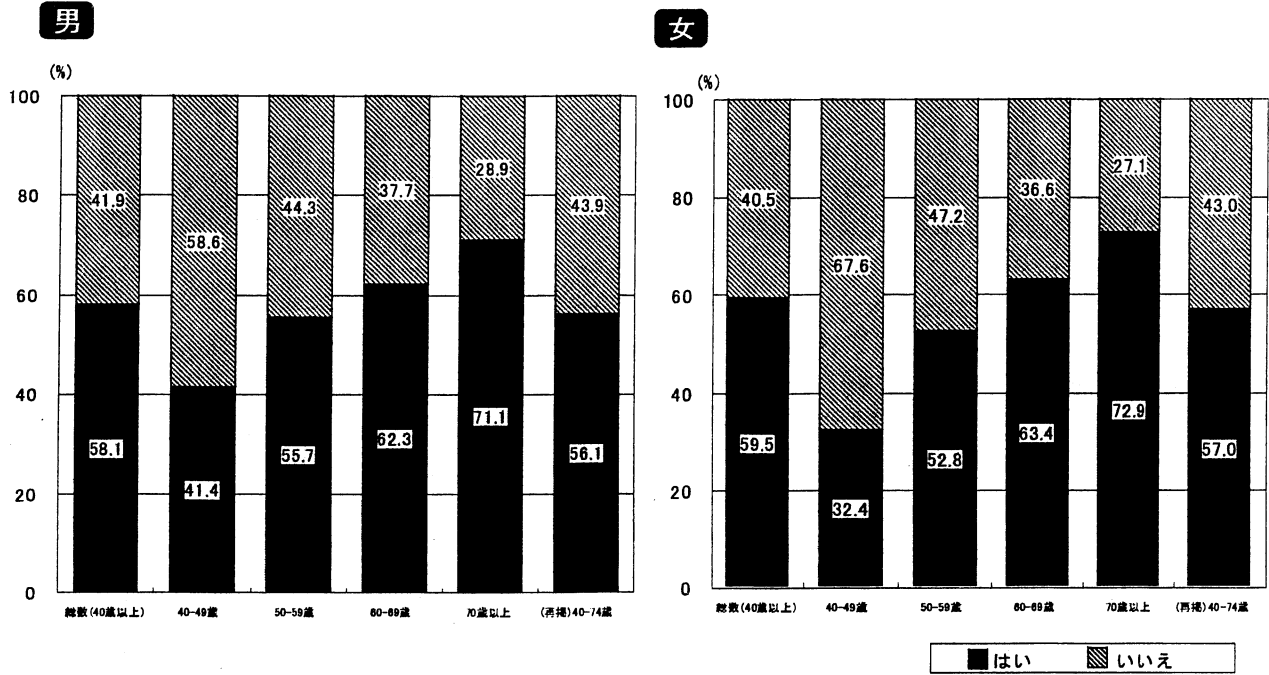
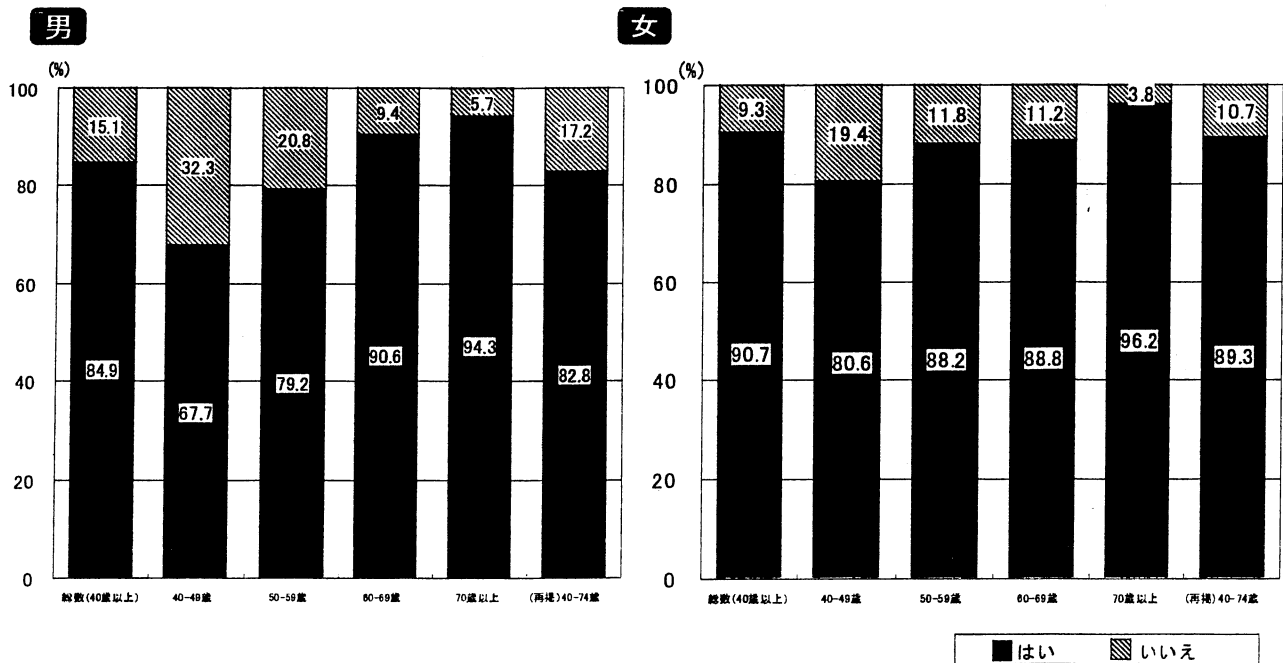


図17 医療機関に行った者の比率



※図16で医療機関の受診を勧められたと回答した者の内訳

10. 保健指導の利用状況

40歳以上において、健診の結果、指摘を受けたことのある者のうち、保健指導を受けた者は、男女共に約7割であり（図18）、そのうち、指導内容を実行している者（「おおむね実行している」、「一部実行している」）は、男女共に約9割（図19）。

図18 健診の結果、保健指導を受けた者の比率

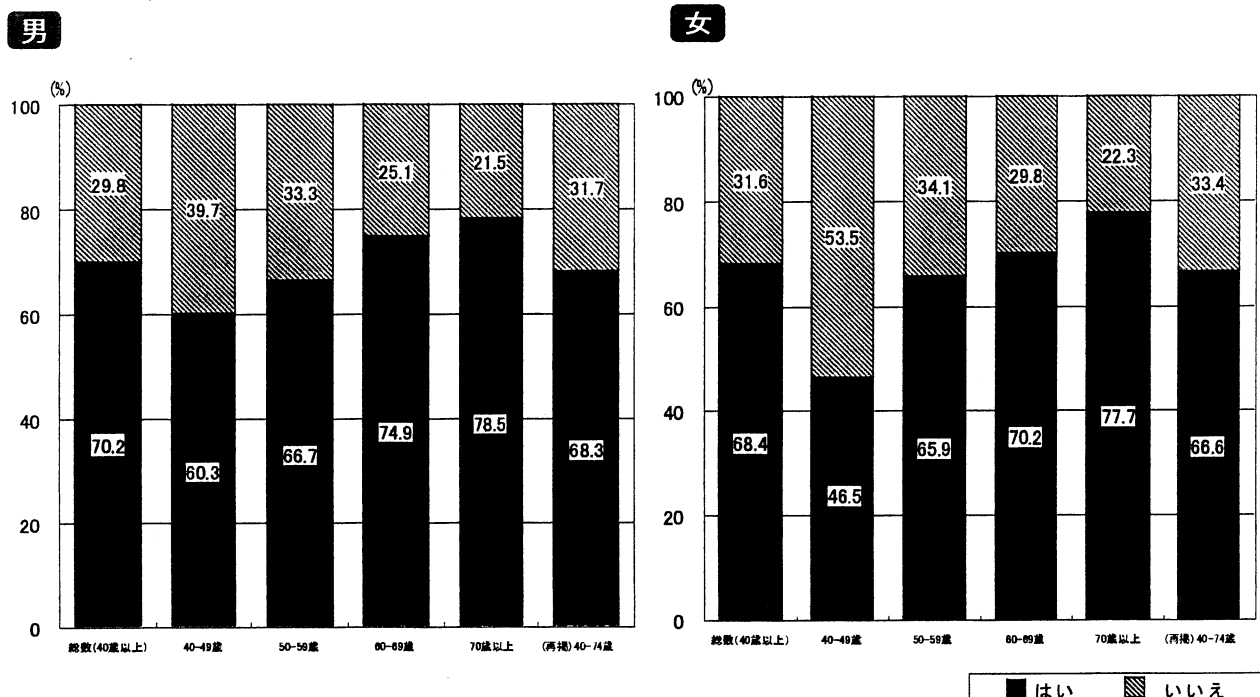
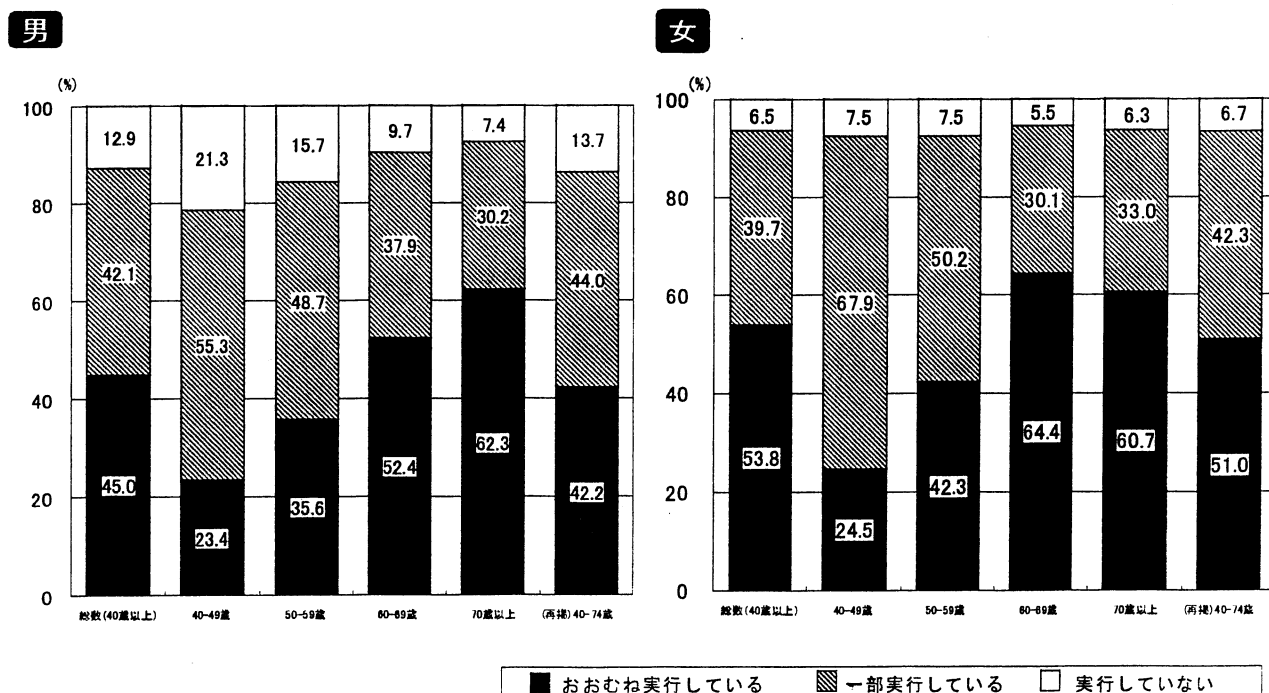


図19 保健指導内容を実行している者の比率

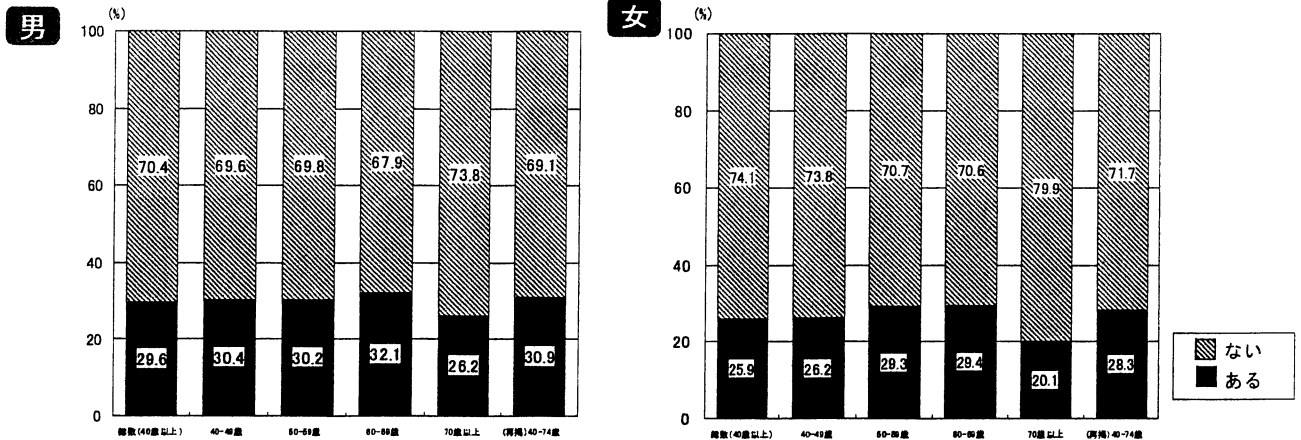


※図18で保健指導を受けたと回答した者の内訳

11. 腹囲計測の状況

40歳以上において、過去1年間に腹囲（おへその位置でのお腹周り）を計測したことがある者は、男女共に約3割であった。

図20 過去1年間の腹囲計測の有無



腹囲をコントロールするために、食事や運動などの生活習慣に気をつけている者の割合は、腹囲計測をしたことがある者で、男性約7割、女性約8割に対し（図21）、腹囲計測をしたことのない者の割合は、男性約4割、女性約5割であった（図22）。

図21 (腹囲計測経験あり)腹囲コントロールのために食事や運動、生活習慣について気をつけているか

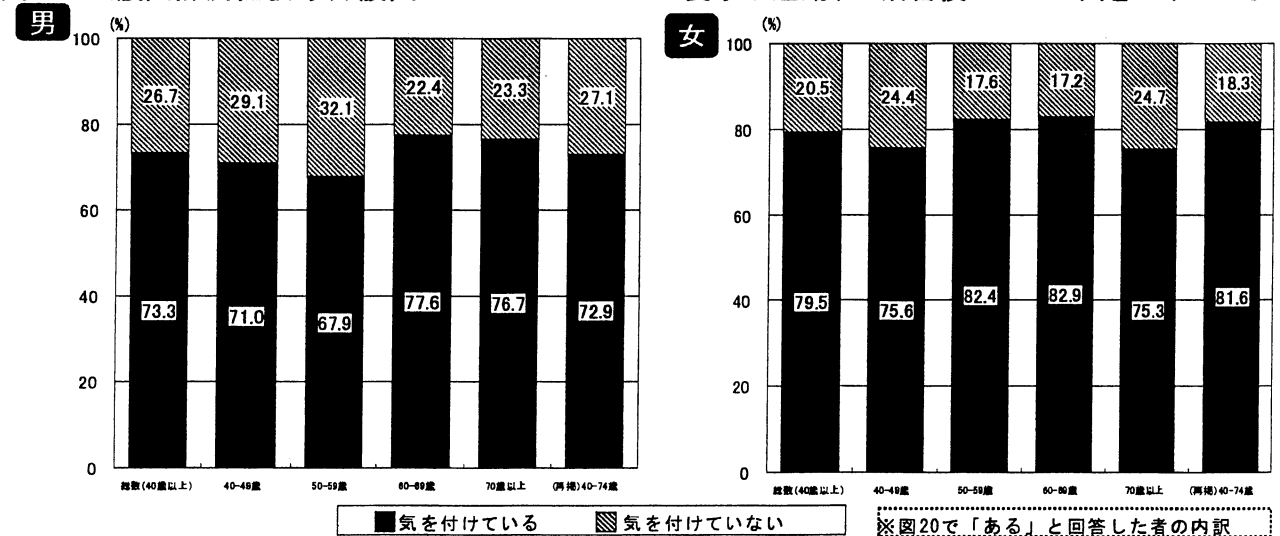
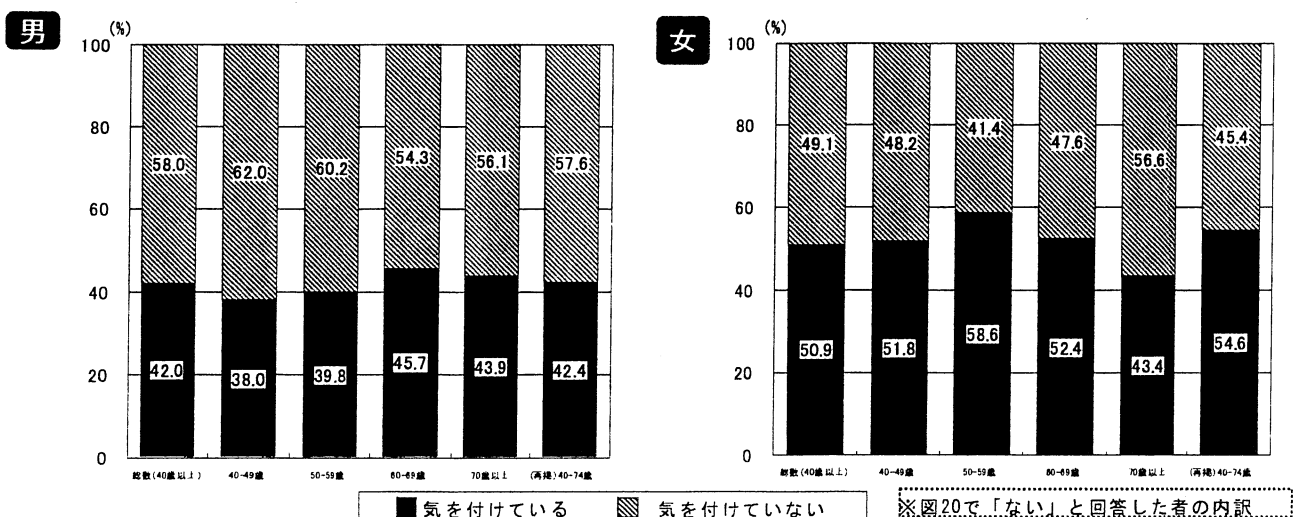


図22 (腹囲計測経験なし)腹囲コントロールのために食事や運動、生活習慣について気をつけているか



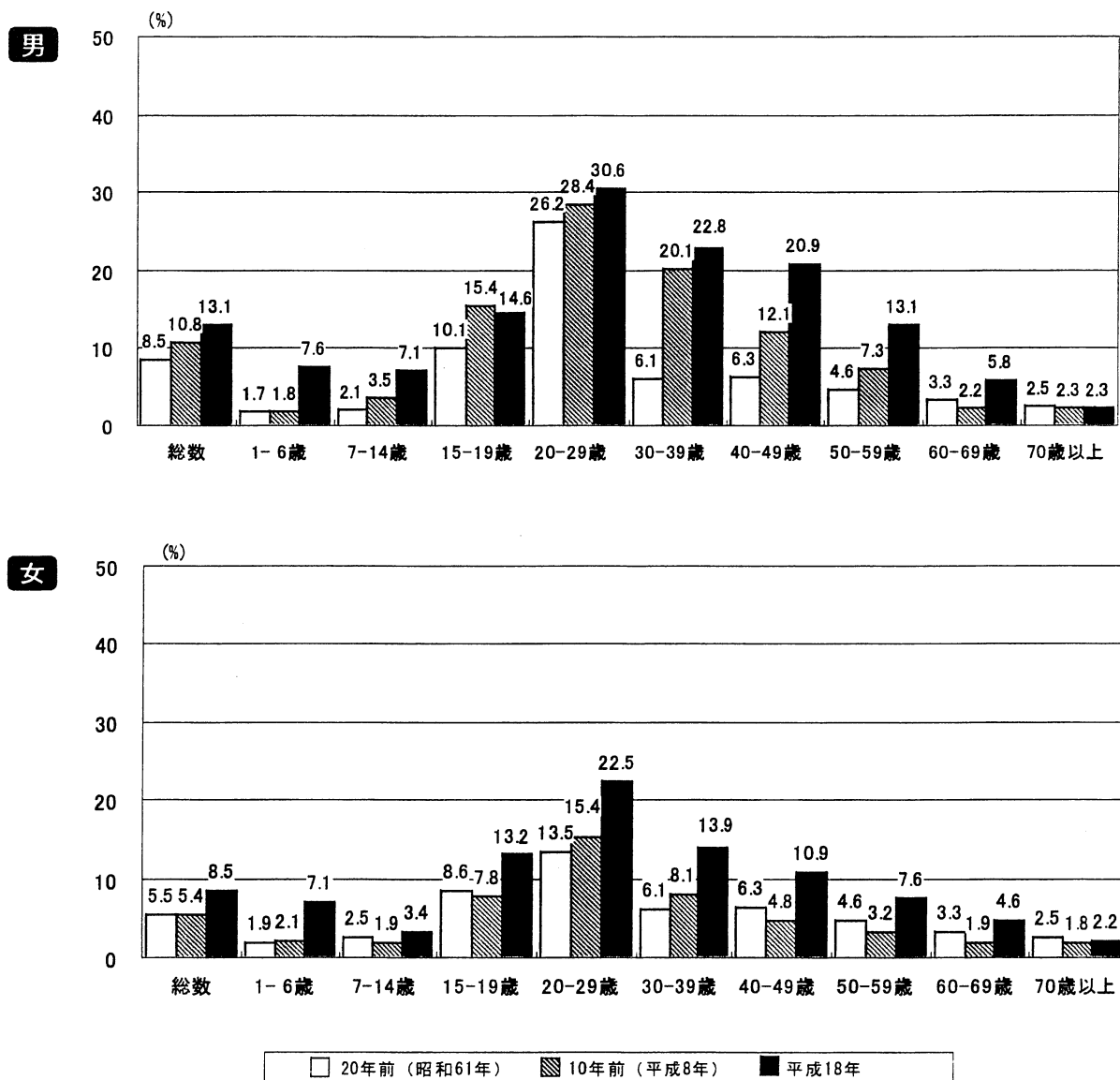
第3部 栄養素等摂取、食品群別摂取の状況

1. 食習慣の状況

朝食の欠食率を年次推移で見ると、男女共に高くなる傾向であり、平成18年には男女共に20歳代で最も高く、男性で約3割、女性で約2割。

朝食の欠食率は、男女共に20歳代で最も高く、男性30.6%、女性22.5%であり、30歳代以降は、年齢とともに、低くなっていた。

図23 朝食の欠食率（1歳以上）



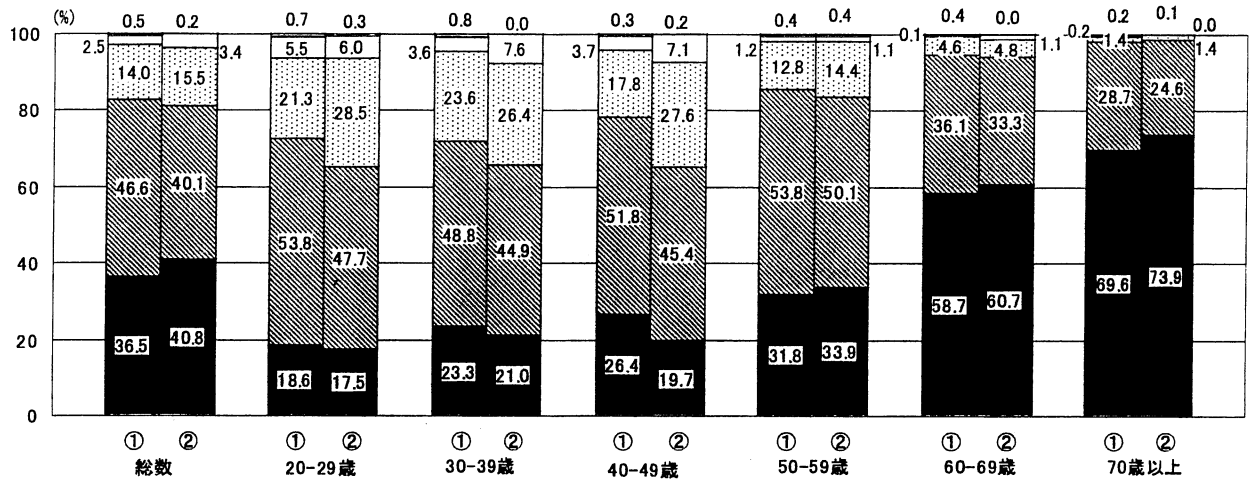
本調査での「欠食」は以下3つの場合の合計である。
 ①何も食べない（食事をしなかった場合）
 ②菓子、果物、乳製品、嗜好飲料などの食品のみ食べた場合
 ③錠剤・カプセル・顆粒状のビタミン・ミネラル、栄養ドリンク剤のみの場合

夕食の開始時間は、男女共に20～60歳代において、午後9時以降に食べる者の割合が増加。

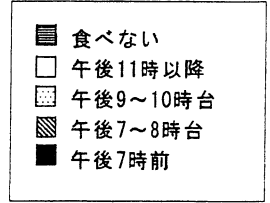
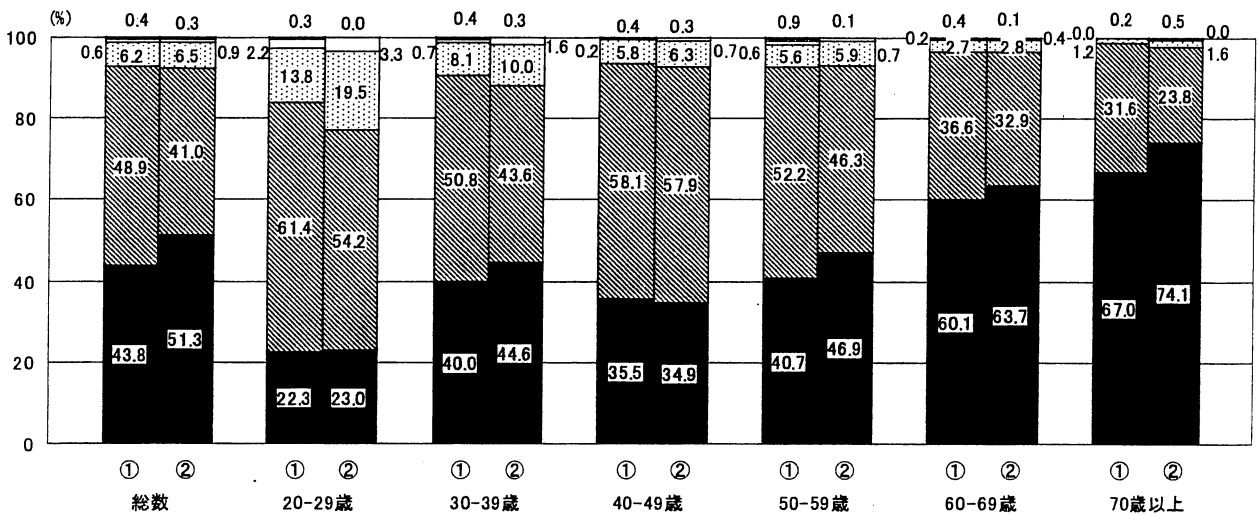
夕食の開始時間については、男性では、20歳代～60歳代において、午後9時以降に食べる者の割合が増加していた。特に、平成18年は、男性の30歳代、40歳代においては、午後11時以降の者が7.0%以上であった。

図24 夕食開始時間（20歳以上） [①平成9年・②平成18年]

男



女



2. エネルギー摂取量及び脂肪エネルギー比率

エネルギー摂取量の平均値の年次推移は、男女共に漸減傾向。
脂肪エネルギー比率が30%以上の者の割合は、20歳以上の男性で約2割、
女性で約3割。

エネルギー摂取量の平均値は、男女共に漸減傾向（図25）。脂肪エネルギー比率が30%以上の者は、成人の男性で18.1%、女性で27.2%であり（図26-1）、近年の年次推移でみると、男女共に25%未満の者の比率が漸減し、30%以上の者の比率が漸増していた（図26-2）。

図25 エネルギー摂取量の平均値の年次推移（20歳以上）

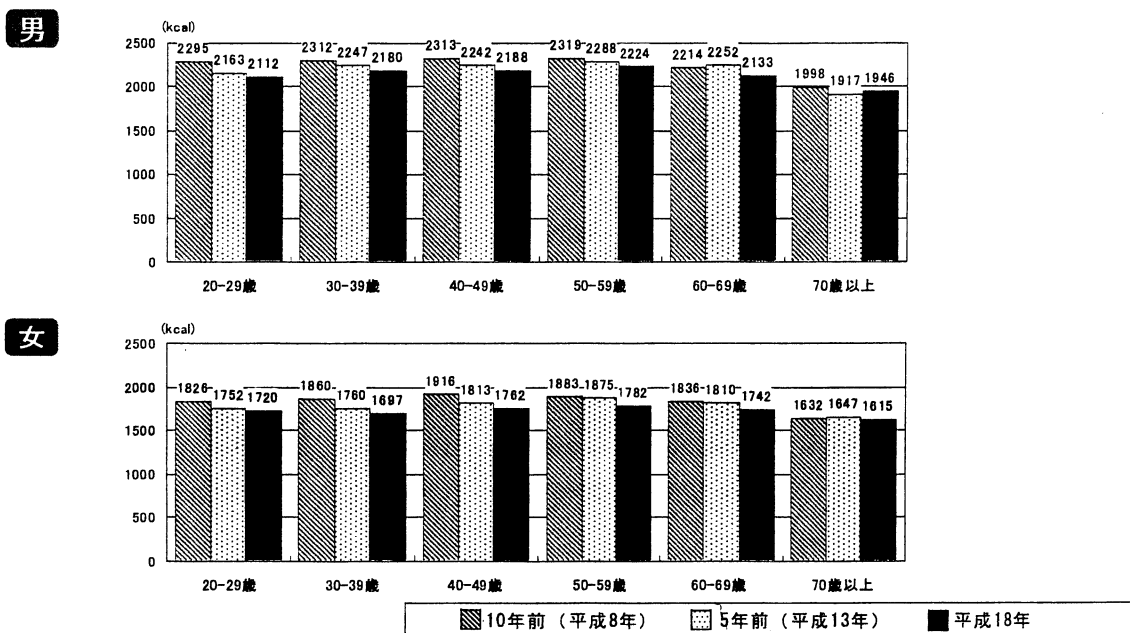


図26-1 脂肪エネルギー比率の分布（20歳以上）

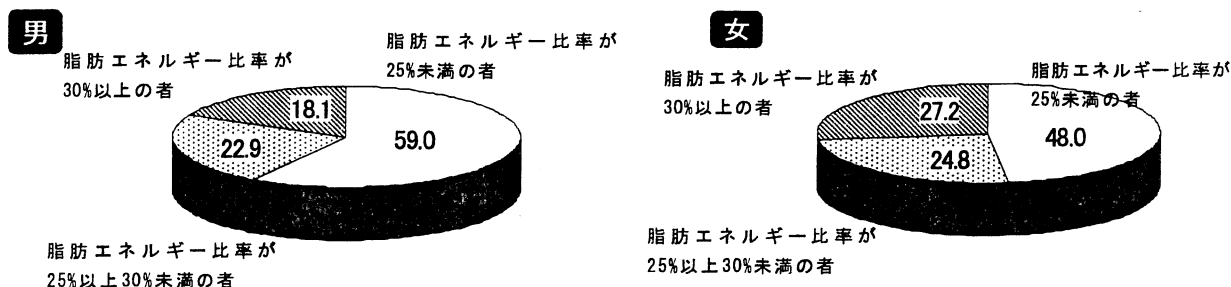
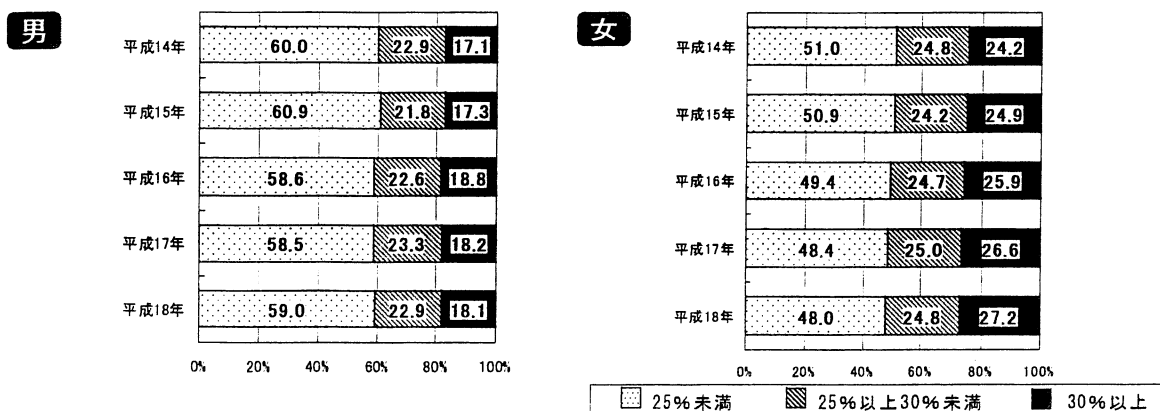


図26-2 脂肪エネルギー比率の分布の年次推移（20歳以上）



脂肪エネルギー比率：脂肪からのエネルギー摂取割合

（参考）日本人の食事摂取基準（2005年版）：脂肪エネルギー比率の目標量

18～29歳：20%以上30%未満，30～69歳：20%以上25%未満，70歳以上：15%以上25%未満

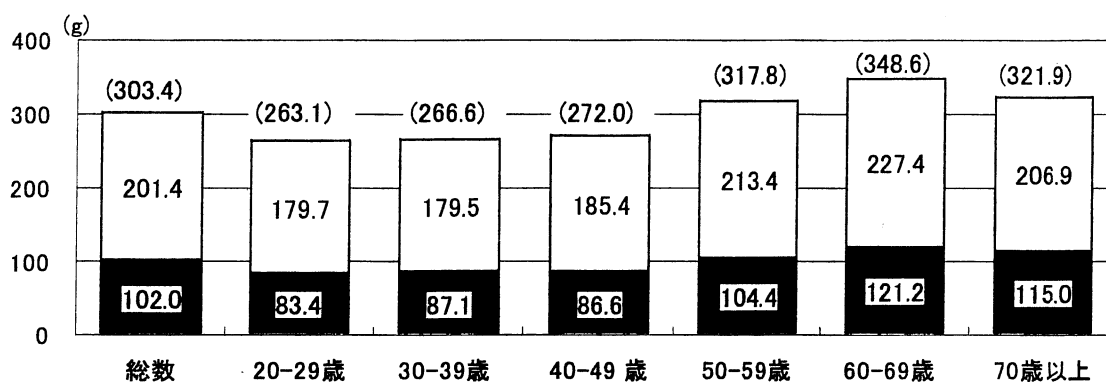
3. 野菜摂取量

野菜摂取量は、年齢と共に増加しているが、最も摂取量の多い60歳代においても、平均で348.6g

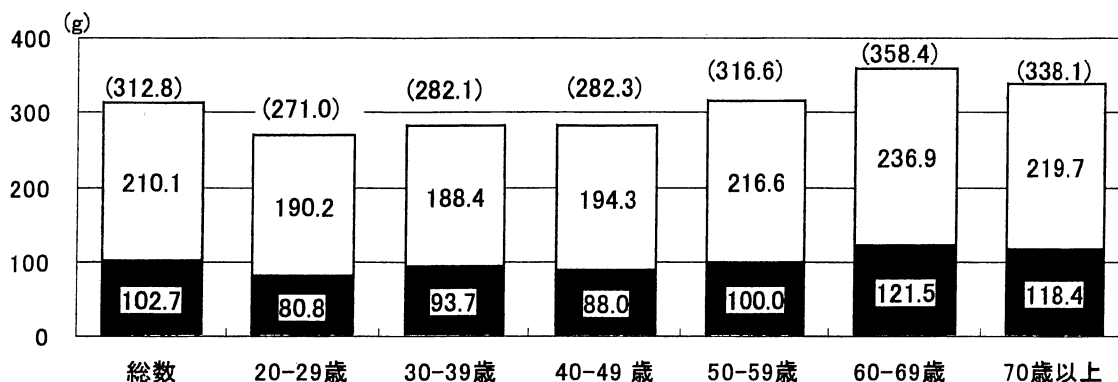
野菜類摂取量の20歳以上における1日当たりの平均は303.4g、最も多い60歳代の平均は348.6gであった。一方、男女とも20～40歳代は平均摂取量が300gに達していなかった。

図27 野菜類摂取量の平均値（20歳以上）

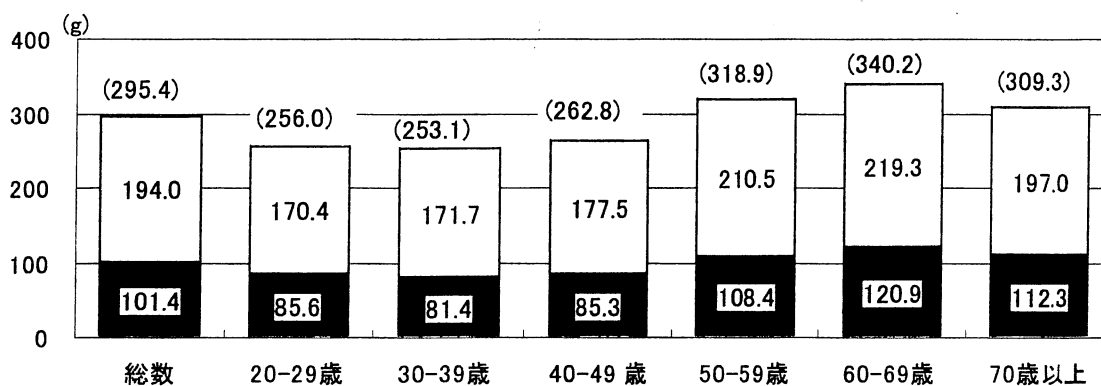
総数



男



女



■ 緑黄色野菜 □ その他の野菜（緑黄色野菜以外）

() 内は、「緑黄色野菜」及び「その他の野菜（野菜類のうち緑黄色野菜以外）」摂取量の合計。

4. 食塩摂取量

食塩を目標量を超えて摂取している者の割合は、男性で約6割、女性で約7割

20歳以上の60%以上の者が、食塩を目標量以上摂取していた。
また、20歳以上の1日当たりの食塩摂取量の平均値は、11.2g(男性12.2g, 女性10.5g)であった。

図28-1 食塩摂取量の分布 (20歳以上)

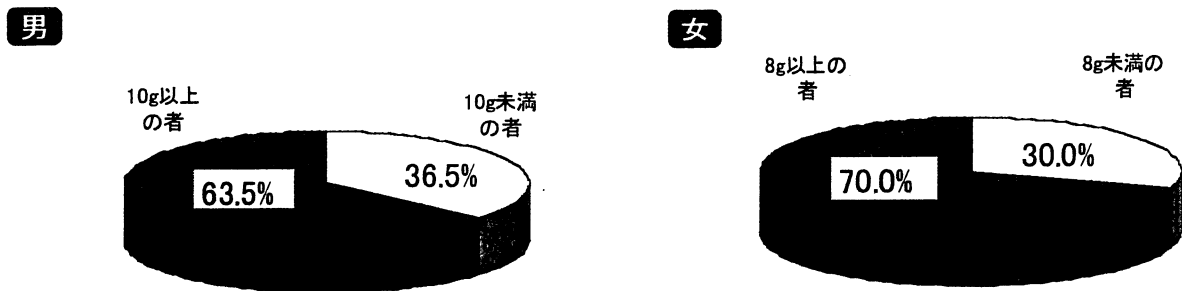
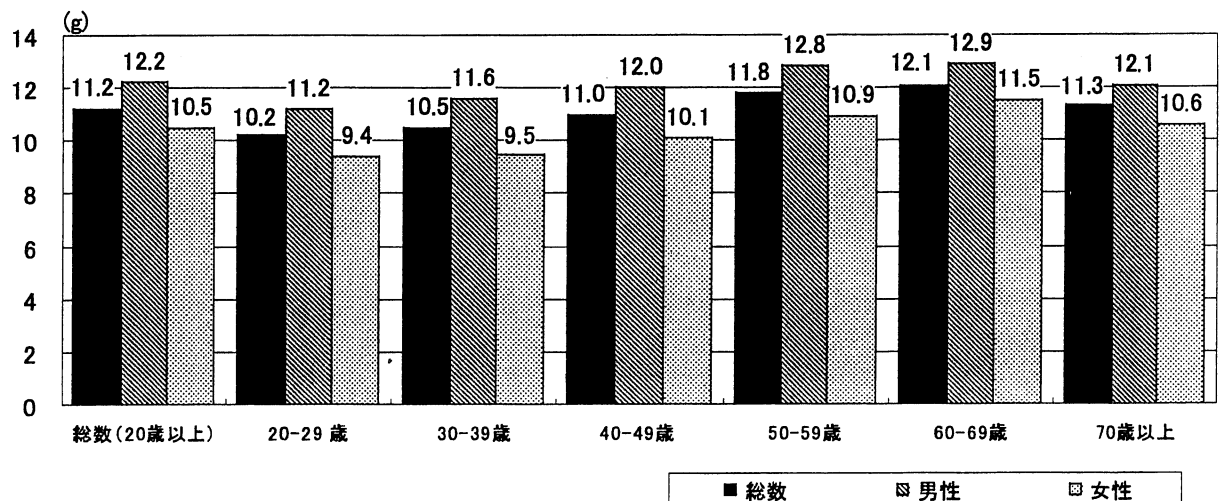


図28-2 食塩摂取量の平均値 (20歳以上)



$$\text{食塩摂取量 (g)} = \text{ナトリウム (mg)} \times 2.54 / 1,000$$

(参考) 日本人の食事摂取基準 (2005年版)

食塩摂取の目標量 成人男性 10g未満 成人女性 8g未満

表1-1 栄養素等摂取量(1日当たり平均)(総数) - 性・年齢階級別 -

総数	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	20歳以上(再掲)	
調査人数	人	9423	559	815	458	780	1254	1101	1483	1341	1632	7591
エネルギー	kcal	1891	1298	1996	2194	1904	1921	1963	1991	1922	1761	1905
たんぱく質	g	69.8	46.1	73.8	79.4	68.7	69.0	70.9	73.8	73.4	66.9	70.5
うち動物性	g	37.5	26.2	43.7	46.6	37.8	37.4	38.2	38.8	37.8	33.8	37.1
脂質	g	54.1	41.9	66.6	70.0	61.3	58.0	57.6	54.6	48.6	42.8	52.7
うち動物性	g	27.3	22.5	37.0	36.5	30.4	29.0	28.2	26.6	24.0	21.3	26.0
炭水化物	g	264.4	180.1	268.2	301.5	257.1	261.6	266.5	274.4	278.7	264.3	267.9
食塩相当量	g	10.8	6.1	9.7	10.6	10.2	10.5	11.0	11.8	12.1	11.3	11.2
カリウム	mg	2334	1567	2313	2224	2047	2132	2243	2518	2721	2504	2399
カルシウム	mg	540	469	712	550	475	480	493	535	585	551	526
カルシウム(通常の食品・再掲)	mg	534	465	708	547	473	475	488	529	577	545	520
カルシウム(強化食品の強化分・再掲)	mg	2	3	3	1	1	2	2	2	3	2	2
カルシウム(補助食品・再掲)	mg	3	0	1	2	1	3	4	5	6	5	4
マグネシウム	mg	249	157	234	238	221	234	247	275	288	264	258
リン	mg	1004	721	1131	1091	948	967	995	1050	1069	980	1006
鉄	mg	8.0	4.9	7.2	7.8	7.4	7.5	8.0	8.7	9.2	8.6	8.3
亜鉛	mg	8.3	5.5	8.8	9.9	8.3	8.3	8.4	8.6	8.5	7.8	8.3
銅	mg	1.18	0.73	1.09	1.26	1.10	1.14	1.17	1.27	1.33	1.24	1.22
ビタミンA(レチノール当量)	μgRE	596	465	637	558	517	588	601	573	685	620	604
ビタミンD	μg	7.9	4.3	6.3	7.1	6.3	6.8	7.6	8.8	10.1	9.0	8.3
ビタミンE(α-トコフェロール当量)	mg-α-TE	8.9	4.8	6.7	8.2	7.9	8.6	8.4	10.9	10.3	9.4	9.4
ビタミンE(通常の食品・再掲)	mg-α-TE	8.9	4.8	6.7	7.4	6.9	6.7	7.0	7.5	7.7	6.8	7.1
ビタミンE(強化食品の強化分・再掲)	mg-α-TE	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミンE(補助食品・再掲)	mg-α-TE	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミンK	μg	246	139	192	228	218	229	233	272	310	273	261
ビタミンB ₁	mg	1.49	0.61	1.23	1.16	1.18	1.34	1.29	1.77	1.88	1.84	1.60
ビタミンB ₁ (通常の食品・再掲)	mg	1.49	0.61	1.23	1.16	1.18	1.34	1.29	1.77	1.88	1.84	1.60
ビタミンB ₁ (強化食品の強化分・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₁ (補助食品・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₂	mg	1.46	0.88	1.36	1.36	1.36	1.69	1.36	1.48	1.66	1.49	1.52
ビタミンB ₂ (通常の食品・再掲)	mg	1.46	0.88	1.36	1.36	1.36	1.69	1.36	1.48	1.66	1.49	1.52
ビタミンB ₂ (強化食品の強化分・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₂ (補助食品・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ナイアシン	mgNE	14.8	7.9	12.6	14.3	13.9	15.1	15.7	17.1	16.5	14.8	15.6
ビタミンB ₆	mg	1.73	0.72	1.11	1.37	1.45	1.67	1.45	2.04	2.37	2.01	1.89
ビタミンB ₆ (通常の食品・再掲)	mg	1.73	0.72	1.11	1.37	1.45	1.67	1.45	2.04	2.37	2.01	1.89
ビタミンB ₆ (強化食品の強化分・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₆ (補助食品・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₁₂	μg	6.9	4.0	6.3	6.1	5.4	6.4	7.2	7.7	8.4	7.5	7.3
葉酸	μg	306	172	251	274	263	272	294	338	382	354	324
パントテン酸	mg	5.49	4.13	6.27	6.08	5.18	5.29	5.41	5.64	5.86	5.32	5.47
ビタミンC	mg	113	58	78	105	89	95	105	124	154	140	121
ビタミンC(通常の食品・再掲)	mg	98	56	74	84	74	76	84	109	136	125	105
ビタミンC(強化食品の強化分・再掲)	mg	3	0	1	13	6	4	2	3	2	2	3
ビタミンC(補助食品・再掲)	mg	12	2	3	8	9	15	19	11	17	13	14
コレステロール	mg	323	224	355	424	350	326	341	335	311	284	320
食物繊維総量	g	14.2	8.7	13.0	13.2	12.5	12.8	13.3	15.5	17.1	15.9	14.8
うち水溶性	g	3.4	2.2	3.4	3.2	3.0	3.1	3.2	3.6	3.9	3.7	3.5
うち不溶性	g	10.8	6.5	9.6	10.0	9.5	9.7	10.1	11.9	13.2	12.2	11.3
たんぱく質エネルギー比	%	14.9	14.2	14.9	14.7	14.6	14.5	14.6	15.0	15.4	15.3	15.0
脂質エネルギー比	%	25.5	28.6	29.9	28.6	28.6	26.9	26.2	24.6	22.6	21.6	24.6
炭水化物エネルギー比	%	59.6	57.1	55.2	56.7	56.8	58.5	59.2	60.4	62.0	63.1	60.4

表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。

通常の食品：通常の食品からの摂取

強化食品の強化分：通常の食品に強化されている部分からの摂取

(例：カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分)

補助食品：顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

表1-2 栄養素等摂取量(1日当たり平均)(男性) - 性・年齢階級別 -

男性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	20歳以上(高年)	
調査人数	人	4443	276	422	239	367	583	519	702	618	717	3506
エネルギー	kcal	2095	1353	2080	2508	2112	2180	2188	2224	2133	1946	2127
たんぱく質	g	75.7	47.6	76.5	88.4	74.4	76.5	77.2	80.2	79.7	72.7	76.9
うち動物性	g	41.2	27.1	45.3	51.9	40.9	42.1	42.4	43.1	41.7	36.8	41.1
脂質	g	58.2	44.0	68.5	78.3	66.1	63.4	61.1	58.2	52.3	45.6	56.7
うち動物性	g	30.0	24.4	38.4	41.4	33.1	32.9	30.4	29.3	26.4	23.0	28.7
炭水化物	g	290.4	187.4	281.8	349.4	288.1	296.8	294.6	299.1	302.6	289.2	295.5
食塩相当量	g	11.5	6.3	9.9	11.5	11.2	11.6	12.0	12.8	12.9	12.1	12.2
カリウム	mg	2415	1577	2396	2383	2092	2268	2318	2552	2800	2648	2485
カルシウム	mg	551	486	752	592	474	485	487	533	584	572	529
カルシウム(通常の食品・再掲)	mg	546	484	749	587	470	480	483	528	576	568	524
カルシウム(強化食品の強化分・再掲)	mg	2	2	3	5	4	5	4	5	8	4	5
カルシウム(補助食品・再掲)	mg	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マグネシウム	mg	263	157	243	259	231	252	262	289	301	283	274
リン	mg	1076	743	1180	1199	1007	1052	1067	1125	1142	1057	1081
鉄	mg	8.3	4.9	7.3	8.5	7.7	8.0	8.2	9.0	9.5	9.0	8.7
鉄(通常の食品・再掲)	mg	8.2	4.8	7.2	8.4	7.6	7.9	8.2	8.9	9.3	8.9	8.6
鉄(強化食品の強化分・再掲)	mg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄(補助食品・再掲)	mg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
亜鉛	mg	9.1	5.7	9.2	11.2	9.3	9.3	9.3	9.5	9.3	8.4	9.2
銅	mg	1.27	0.73	1.13	1.38	1.19	1.26	1.28	1.37	1.43	1.34	1.32
ビタミンA(レチノール当量)	μgRE	624	512	668	576	513	626	691	564	704	651	630
ビタミンD	μg	8.3	4.2	6.1	7.9	6.4	7.5	8.4	9.3	11.0	9.6	8.9
ビタミンE(α-トコフェロール当量)	mg-α-TE	8.6	4.8	6.9	9.3	8.4	8.2	8.5	9.8	9.9	8.9	9.0
ビタミンE(通常の食品・再掲)	mg	7.7	4.0	6.1	8.3	7.2	7.9	8.2	9.5	10.0	9.0	8.4
ビタミンE(強化食品の強化分・再掲)	mg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミンE(補助食品・再掲)	mg	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ビタミンK	μg	250	136	197	240	222	239	237	269	316	288	267
ビタミンB ₁	mg	1.58	0.63	1.27	1.41	1.26	1.47	1.45	1.88	1.87	1.96	1.70
ビタミンB ₁ (通常の食品・再掲)	mg	0.97	0.48	1.02	1.17	0.95	0.95	0.97	0.95	0.97	0.95	0.92
ビタミンB ₁ (強化食品の強化分・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₁ (補助食品・再掲)	mg	0.61	0.15	0.25	0.24	0.31	0.52	0.47	0.93	0.90	0.99	0.77
ビタミンB ₂	mg	1.49	0.91	1.43	1.53	1.43	1.37	1.43	1.59	1.74	1.58	1.54
ビタミンB ₂ (通常の食品・再掲)	mg	0.81	0.41	0.71	0.81	0.72	0.72	0.72	0.75	0.73	0.71	0.74
ビタミンB ₂ (強化食品の強化分・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₂ (補助食品・再掲)	mg	0.68	0.50	0.72	0.72	0.71	0.65	0.71	0.84	1.01	0.87	0.79
ナイアシン	mgNE	16.3	8.1	12.8	15.7	15.0	17.0	17.6	19.1	18.3	16.6	17.4
ビタミンB ₆	mg	1.82	0.75	1.14	1.64	1.53	1.66	1.61	2.18	2.51	2.17	2.00
ビタミンB ₆ (通常の食品・再掲)	mg	1.27	0.52	0.81	1.20	1.18	1.27	1.27	1.58	1.81	1.58	1.57
ビタミンB ₆ (強化食品の強化分・再掲)	mg	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ビタミンB ₆ (補助食品・再掲)	mg	0.55	0.23	0.33	0.34	0.35	0.47	0.34	0.60	0.70	0.59	0.72
ビタミンB ₁₂	μg	7.6	4.3	6.3	6.6	5.6	7.2	8.3	8.7	9.4	8.2	8.1
葉酸	μg	314	174	253	277	269	288	311	341	392	372	335
パントテン酸	mg	5.86	4.27	6.55	6.70	5.55	5.76	5.78	5.94	6.21	5.73	5.85
ビタミンC	mg	107	54	77	112	77	91	90	110	146	144	114
ビタミンC(通常の食品・再掲)	mg	86	43	73	82	74	77	82	101	129	131	102
ビタミンC(強化食品の強化分・再掲)	mg	2	0	0	2	0	0	0	2	2	2	2
ビタミンC(補助食品・再掲)	mg	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレステロール	mg	347	223	363	449	369	358	363	366	343	303	348
食物繊維総量	g	14.4	8.6	13.2	13.7	12.5	13.3	13.3	15.2	17.3	16.7	15.0
うち水溶性	g	3.4	2.2	3.5	3.3	3.0	3.2	3.2	3.5	4.0	3.9	3.5
うち不溶性	g	10.9	6.4	9.7	10.4	9.5	10.1	10.1	11.7	13.3	12.8	11.5
たんぱく質エネルギー比	%	14.6	14.1	14.8	14.2	14.2	14.2	14.3	14.6	15.1	15.1	14.6
脂質エネルギー比	%	24.8	28.8	29.6	28.0	27.7	25.9	24.8	23.4	21.9	20.8	23.7
炭水化物エネルギー比	%	60.6	57.1	55.6	57.8	58.1	59.9	60.9	62.0	63.0	64.1	61.7

表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。

通常の食品：通常の食品からの摂取

強化食品の強化分：通常の食品に強化されている部分からの摂取
(例：カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分)

補助食品：顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

表1-3 栄養素等摂取量(1日当たり平均)(女性)-性・年齢階級別-

女性	総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	20歳以上(再掲)	
調査人数	人	4980	283	393	219	413	671	582	781	723	915	4085
エネルギー	kcal	1709	1245	1905	1852	1720	1697	1762	1782	1742	1615	1714
たんぱく質	g	64.5	44.7	70.9	69.6	63.6	62.5	65.2	68.2	68.0	62.3	65.0
うち動物性	g	34.2	25.3	41.9	40.8	35.0	33.3	34.5	35.0	34.4	31.4	33.7
脂質	g	50.4	39.9	64.5	60.8	57.1	53.2	54.5	51.4	45.5	40.6	49.3
うち動物性	g	24.8	20.8	35.5	31.2	28.0	25.6	26.2	24.1	21.9	19.9	23.7
炭水化物	g	241.2	173.1	253.7	249.3	229.6	231.0	241.5	252.2	258.3	244.8	244.3
食塩相当量	g	10.1	5.9	9.5	9.6	9.4	9.5	10.1	10.9	11.5	10.6	10.5
カリウム	mg	2261	1556	2224	2051	2007	2014	2176	2486	2654	2392	2325
カルシウム	mg	530	452	669	503	476	476	498	537	586	536	524
カルシウム(通常の食品・再掲)	mg	524	448	667	503	476	476	482	530	577	526	517
カルシウム(強化食品の強化分・再掲)	mg	6	4	2	1	1	2	2	3	3	3	2
カルシウム(補助食品・再掲)	mg	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マグネシウム	mg	237	156	224	215	212	218	234	262	277	248	245
リン	mg	940	699	1078	974	895	893	931	983	1006	919	942
鉄	mg	7.7	4.8	7.0	7.2	7.1	7.1	7.9	8.4	8.9	8.2	8.0
亜鉛	mg	7.6	5.4	8.4	8.5	7.5	7.4	7.7	7.8	7.9	7.3	7.6
銅	mg	1.11	0.74	1.06	1.12	1.03	1.04	1.08	1.18	1.25	1.16	1.14
ビタミンA(レチノール当量)	μgRE	572	420	604	538	521	556	522	580	669	596	581
ビタミンD	μg	7.4	4.4	6.6	6.1	6.3	6.3	6.9	8.3	9.3	8.6	7.8
ビタミンE(α-トコフェロール当量)	mg-α-TE	9.1	4.7	6.6	7.0	7.5	8.9	8.3	11.8	10.7	9.8	9.8
ビタミンK	μg	242	142	188	214	214	221	229	275	305	261	256
ビタミンB ₁	mg	1.41	0.59	1.19	0.88	1.10	1.22	1.14	1.67	1.88	1.74	1.51
ビタミンB ₂	mg	1.43	0.85	1.29	1.17	1.29	1.97	1.30	1.38	1.60	1.41	1.50
ナイアシン	mgNE	13.5	7.6	12.3	12.7	13.0	13.4	14.0	15.3	15.0	13.3	14.1
ビタミンB ₆	mg	1.64	0.70	1.08	1.08	1.38	1.68	1.31	1.92	2.25	1.88	1.79
ビタミンB ₁₂	μg	6.3	3.6	6.3	5.5	5.2	5.7	6.2	6.7	7.5	7.0	6.5
葉酸	μg	299	171	250	270	258	259	278	335	373	340	315
パントテン酸	mg	5.16	3.99	5.97	5.40	4.85	4.89	5.08	5.37	5.55	5.01	5.15
ビタミンC	mg	119	61	80	98	100	99	117	135	160	136	128
コレステロール	mg	301	225	347	398	333	298	321	307	283	269	297
食物繊維総量	g	14.0	8.7	12.7	12.6	12.5	12.4	13.3	15.7	17.0	15.2	14.6
うち水溶性	g	3.3	2.2	3.3	3.0	3.0	3.1	3.2	3.7	3.9	3.5	3.4
うち不溶性	g	10.7	6.5	9.4	9.6	9.4	9.3	10.1	12.1	13.1	11.7	11.2
たんぱく質エネルギー比	%	15.2	14.4	14.9	15.2	15.0	14.8	14.9	15.4	15.7	15.5	15.3
脂質エネルギー比	%	26.1	28.4	30.3	29.3	29.4	27.8	27.4	25.7	23.1	22.2	25.4
炭水化物エネルギー比	%	58.7	57.2	54.8	55.5	55.6	57.4	57.7	58.9	61.2	62.3	59.3

表中の「通常の食品」「強化食品」「補助食品」は次のとおりである。

通常の食品：通常の食品からの摂取

強化食品の強化分：通常の食品に強化されている部分からの摂取
 (例：カルシウム強化牛乳、鉄強化ヨーグルトなどの強化分)

補助食品：顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品からの摂取

表2 食品群別摂取量(1日当たり平均) - 性・年齢階級別 -

(単位:g)

		総数	1-6歳	7-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	20歳以上(再婚)
総数	調査人数(人)	9423	559	815	458	780	1254	1101	1483	1341	1632	7591
	穀類	449.8	259.2	427.2	541.3	458.8	468.9	473.3	469.2	459.6	440.3	460.8
	いも類	62.1	43.5	68.6	57.4	53.1	56.8	58.7	62.8	67.6	72.0	63.0
	砂糖・甘味料類	7.1	3.9	5.8	7.1	5.7	6.4	6.7	7.7	8.1	8.6	7.4
	豆類	56.3	31.3	41.1	45.2	43.1	49.0	52.9	67.3	70.6	67.9	60.4
	種実類	2.1	1.2	1.5	1.9	1.4	1.2	1.7	2.7	2.9	2.6	2.2
	野菜類	287.8	151.5	250.1	262.0	263.1	266.6	272.0	317.8	348.6	321.9	303.4
	うち緑黄色野菜	95.6	52.6	72.2	82.6	83.4	87.1	86.6	104.4	121.2	115.0	102.0
	果実類	107.5	94.8	92.5	106.3	65.8	61.9	81.6	116.1	155.9	144.4	110.1
	きのこ類	15.3	7.5	12.4	15.8	14.9	13.7	14.6	19.1	19.2	14.4	16.1
	海草類	12.8	8.5	10.9	9.4	9.7	12.5	11.6	14.2	16.6	14.1	13.5
	魚介類	80.2	35.8	59.1	68.6	64.1	70.2	76.1	95.2	105.2	93.2	86.4
	肉類	80.4	55.9	101.6	133.5	106.4	98.6	95.6	78.4	57.7	47.0	76.7
	卵類	36.0	23.6	35.7	51.3	39.7	35.5	37.9	37.4	34.7	33.4	36.1
	乳類	125.3	210.6	331.2	160.8	103.2	96.5	89.4	86.9	98.9	96.8	94.8
	油脂類	10.2	6.9	11.2	14.8	12.7	12.4	11.6	10.5	8.5	6.7	10.0
	菓子類	26.0	36.7	39.3	32.7	31.5	22.6	23.6	24.2	22.2	20.3	23.4
嗜好飲料類	621.9	227.0	258.0	415.4	552.2	686.1	734.2	804.0	779.2	610.1	702.5	
調味料・香辛料類	93.7	47.8	70.4	81.8	88.3	99.7	107.4	108.2	109.1	87.6	100.3	
補助栄養素・特定保健用食品	12.8	10.3	8.0	9.4	13.9	10.6	14.0	13.5	14.7	15.4	13.7	
男性	調査人数(人)	4443	276	422	239	367	583	519	702	618	717	3506
	穀類	519.9	274.1	457.0	652.2	550.1	556.7	553.0	549.3	528.2	501.9	537.8
	いも類	62.6	42.8	69.6	62.0	50.9	61.7	58.9	61.1	68.2	72.6	63.4
	砂糖・甘味料類	7.0	4.2	5.9	7.1	5.4	6.6	6.9	7.5	8.0	8.6	7.4
	豆類	57.3	29.2	43.3	50.2	45.9	49.3	54.2	66.8	71.9	71.1	61.6
	種実類	2.0	1.5	1.4	1.1	1.3	1.2	1.4	3.0	2.7	2.9	2.2
	野菜類	294.1	148.1	251.0	264.5	271.0	282.1	282.3	316.6	358.4	338.1	312.8
	うち緑黄色野菜	95.3	52.3	70.6	80.2	80.8	93.7	88.0	100.0	121.5	118.4	102.7
	果実類	98.9	92.7	90.5	110.5	59.3	55.1	69.2	90.2	145.0	148.6	99.6
	きのこ類	15.4	6.8	13.1	15.1	15.9	13.5	14.4	18.1	20.5	15.2	16.4
	海草類	13.1	9.3	12.3	11.0	8.6	13.4	11.7	13.9	16.0	15.3	13.6
	魚介類	87.6	35.2	58.0	73.9	66.0	78.9	86.3	106.1	118.0	104.7	96.3
	肉類	93.2	60.0	106.3	156.6	126.0	117.9	112.9	90.8	66.7	51.1	89.9
	卵類	38.4	21.6	36.4	53.2	40.8	39.5	38.5	41.9	38.8	34.9	38.9
	乳類	125.2	226.8	359.1	180.6	98.8	83.7	72.8	76.3	87.8	95.5	85.3
	油脂類	11.2	7.2	11.1	16.4	14.0	14.3	12.7	11.5	9.3	7.4	11.2
	菓子類	21.8	36.5	38.0	33.2	23.6	17.9	15.9	15.7	19.0	17.8	17.9
嗜好飲料類	691.3	217.1	283.0	458.8	607.7	759.2	849.4	923.6	877.2	676.9	793.6	
調味料・香辛料類	103.8	46.8	71.0	87.2	99.9	117.0	125.0	122.0	119.9	94.7	113.3	
補助栄養素・特定保健用食品	12.8	8.0	9.1	8.1	15.5	13.8	11.5	13.0	14.0	15.9	13.9	
女性	調査人数(人)	4980	283	393	219	413	671	582	781	723	915	4085
	穀類	387.4	244.7	395.3	420.3	377.6	392.7	402.3	397.2	401.0	392.0	394.7
	いも類	61.6	44.3	67.4	52.3	55.1	52.5	58.5	64.2	67.0	71.6	62.7
	砂糖・甘味料類	7.1	3.6	5.7	7.1	6.0	6.3	6.6	7.9	8.3	8.6	7.5
	豆類	55.4	33.4	38.7	39.8	40.7	48.7	51.8	67.8	69.5	65.4	59.4
	種実類	2.1	0.9	1.6	2.8	1.5	1.1	2.1	2.5	3.1	2.3	2.2
	野菜類	282.1	154.9	249.2	259.4	256.0	253.1	262.8	318.9	340.2	309.3	295.4
	うち緑黄色野菜	95.8	52.9	73.9	85.2	85.6	81.4	85.3	108.4	120.9	112.3	101.4
	果実類	115.1	96.7	94.5	101.7	71.6	67.7	92.7	139.4	165.2	141.1	119.1
	きのこ類	15.2	8.1	11.7	16.6	14.0	13.9	14.8	20.0	18.2	13.9	15.9
	海草類	12.5	7.7	9.3	7.6	10.7	11.7	11.5	14.4	17.1	13.3	13.4
	魚介類	73.6	36.4	60.4	62.7	62.3	62.7	67.0	85.4	94.2	84.1	78.0
	肉類	69.0	51.8	96.6	108.3	89.0	81.7	80.2	67.2	50.1	43.8	65.4
	卵類	33.9	25.6	34.9	49.4	38.7	32.1	37.4	33.4	31.1	32.2	33.6
	乳類	125.4	194.7	301.2	139.2	107.2	107.7	104.3	96.4	108.3	97.9	102.9
	油脂類	9.3	6.6	11.4	13.0	11.7	10.7	10.6	9.6	7.8	6.2	9.1
	菓子類	29.8	37.0	40.6	32.1	38.6	26.6	30.4	31.8	25.0	22.3	28.1
嗜好飲料類	559.9	236.5	231.1	368.1	502.8	622.5	631.5	696.5	695.4	557.8	624.3	
調味料・香辛料類	84.8	48.9	69.7	75.9	78.0	84.6	91.7	95.7	99.8	82.0	89.2	
補助栄養素・特定保健用食品	12.9	12.6	6.8	10.8	12.4	7.8	16.2	13.9	15.3	15.1	13.6	

補助栄養素・特定保健用食品：

顆粒、錠剤、カプセル、ドリンク状の製品及び特定保健用食品からの摂取

第 4 部 生活習慣病等の状況

1. 糖尿病

表 1 解析対象者

(人)

	総数	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	(再掲) 40~74歳
男女計	4,296	280	607	570	875	912	1,052	2,798
男性	1,744	114	212	207	350	389	472	1,153
女性	2,552	166	395	363	525	523	580	1,645

※ヘモグロビンA1cの測定値がある者を解析対象とした。

1-1. 糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性が否定できない人の状況

表 2 「糖尿病が強く疑われる人」および「糖尿病の可能性が否定できない人」の比率

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	糖尿病が強く疑われる人	423	9.8	0	0.0	3	0.5	18	3.2	89	10.2	124	13.6	189	18.0	320	11.4
	(うち服薬者) [※]	204	4.7	0	0.0	2	0.3	4	0.7	29	3.3	64	7.0	105	10.0	149	5.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	513	11.9	3	1.1	22	3.6	59	10.4	112	12.8	140	15.4	177	16.8	383	13.7
	上記以外	3,360	78.2	277	98.9	582	95.9	493	86.5	674	77.0	648	71.1	686	65.2	2,095	74.9
	総数	4,296	100.0	280	100.0	607	100.0	570	100.0	875	100.0	912	100.0	1,052	100.0	2,798	100.0
男性	糖尿病が強く疑われる人	214	12.3	0	0.0	1	0.5	10	4.8	46	13.1	57	14.7	100	21.2	165	14.3
	(うち服薬者) [※]	106	6.1	0	0.0	1	0.5	4	1.9	17	4.9	28	7.2	56	11.9	78	6.8
	糖尿病の可能性が否定できない人	193	11.1	1	0.9	4	1.9	19	9.2	46	13.1	56	14.4	67	14.2	148	12.8
	上記以外	1,337	76.7	113	99.1	207	97.6	178	86.0	258	73.7	276	71.0	305	64.6	840	72.9
	総数	1,744	100.0	114	100.0	212	100.0	207	100.0	350	100.0	389	100.0	472	100.0	1,153	100.0
女性	糖尿病が強く疑われる人	209	8.2	0	0.0	2	0.5	8	2.2	43	8.2	67	12.8	89	15.3	155	9.4
	(うち服薬者) [※]	98	3.8	0	0.0	1	0.3	0	0.0	12	2.3	36	6.9	49	8.4	71	4.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	320	12.5	2	1.2	18	4.6	40	11.0	66	12.6	84	16.1	110	19.0	235	14.3
	上記以外	2,023	79.3	164	98.8	375	94.9	315	86.8	416	79.2	372	71.1	381	65.7	1,255	76.3
	総数	2,552	100.0	166	100.0	395	100.0	363	100.0	525	100.0	523	100.0	580	100.0	1,645	100.0

※「服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

▼「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定▼(糖尿病実態調査(H9, H14)と同様の基準)
 ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンA1cの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。
 ②「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビンA1cの値が5.6%以上、6.1%未満で、①以外の人である。

1-2. 糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性が否定できない人の推計

今回の調査結果に平成18年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の20歳以上人口(全体約1億400万人)を乗じて推計したところ、「糖尿病が強く疑われる人」は約820万人、「糖尿病の可能性が否定できない人」を合わせると約1,870万人となった(表3)。(参考:平成14年度糖尿病実態調査「糖尿病が強く疑われる人」約740万人、「糖尿病の可能性が否定できない人」約880万人)(表4)

表 3 糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性が否定できない人の推計 (平成18年)

	平成18年
「糖尿病が強く疑われる人」	約820万人
「糖尿病の可能性が否定できない人」	約1,050万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性が否定出来ない人」の合計	約1,870万人

(参考) 表4 糖尿病が強く疑われる人、糖尿病の可能性が否定できない人の推計(平成9年,平成14年)

	平成14年	平成9年
「糖尿病が強く疑われる人」	約740万人	約690万人
「糖尿病の可能性が否定できない人」	約880万人	約680万人
「糖尿病が強く疑われる人」と「糖尿病の可能性が否定できない人」の合計	約1,620万人	約1,370万人

(参考)

本報では、「糖尿病の可能性が否定できない人」の判定を糖尿病実態調査(H9,H14)と同様の基準(ヘモグロビンA1cの値が5.6%以上、6.1%未満)を用いて行っているが、老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンA1c値5.5%以上を「要指導」としているため、「糖尿病の可能性が否定できない人」について、ヘモグロビンA1cの値が5.5%以上、6.1%未満で判定した値についても参考値として示す。

表5 「糖尿病が強く疑われる人」および「糖尿病の可能性が否定できない人」の比率
(「糖尿病の可能性を否定できない人」のヘモグロビンA1cの値が5.5%以上、6.1%未満の場合)

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	糖尿病が強く疑われる人	423	9.8	0	0.0	3	0.5	18	3.2	89	10.2	124	13.6	189	18.0	320	11.4
	(うち服薬者) [*]	204	4.7	0	0.0	2	0.3	4	0.7	29	3.3	64	7.0	105	10.0	149	5.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	763	17.8	8	2.9	37	6.1	81	14.2	166	19.0	211	23.1	260	24.7	571	20.4
	上記以外	3,110	72.4	272	97.1	567	93.4	471	82.6	620	70.9	577	63.3	603	57.3	1,907	68.2
	総数	4,296	100.0	280	100.0	607	100.0	570	100.0	875	100.0	912	100.0	1,052	100.0	2,798	100.0
男性	糖尿病が強く疑われる人	214	12.3	0	0.0	1	0.5	10	4.8	46	13.1	57	14.7	100	21.2	165	14.3
	(うち服薬者) [*]	106	6.1	0	0.0	1	0.5	4	1.9	17	4.9	28	7.2	56	11.9	78	6.8
	糖尿病の可能性が否定できない人	268	15.4	1	0.9	6	2.8	22	10.6	65	18.6	80	20.6	94	19.9	206	17.9
	上記以外	1,262	72.4	113	99.1	205	96.7	175	84.5	239	68.3	252	64.8	278	58.9	782	67.8
	総数	1,744	100.0	114	100.0	212	100.0	207	100.0	350	100.0	389	100.0	472	100.0	1,153	100.0
女性	糖尿病が強く疑われる人	209	8.2	0	0.0	2	0.5	8	2.2	43	8.2	67	12.8	89	15.3	155	9.4
	(うち服薬者) [*]	98	3.8	0	0.0	1	0.3	0	0.0	12	2.3	36	6.9	49	8.4	71	4.3
	糖尿病の可能性が否定できない人	495	19.4	7	4.2	31	7.8	59	16.3	101	19.2	131	25.0	166	28.6	365	22.2
	上記以外	1,848	72.4	159	95.8	362	91.6	296	81.5	381	72.6	325	62.1	325	56.0	1,125	68.4
	総数	2,552	100.0	166	100.0	395	100.0	363	100.0	525	100.0	523	100.0	580	100.0	1,645	100.0

※「服薬者」とは、質問票で「インスリン注射または血糖を下げる薬」の使用有と回答した者。

▼「糖尿病が強く疑われる人」、「糖尿病の可能性を否定できない人」の判定▼

- ①「糖尿病が強く疑われる人」とは、ヘモグロビンA1cの値が6.1%以上、または、質問票で「現在糖尿病の治療を受けている」と答えた人である。
- ②「糖尿病の可能性を否定できない人」とは、ヘモグロビンA1cの値が5.5%以上、6.1%未満で、①以外の人である。

2. 高血圧症

表6 解析対象者

(人)

	総数	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	(再掲) 40~74歳
男女計	4,538	301	630	593	907	972	1,135	2,940
男性	1,834	122	220	214	363	411	504	1,208
女性	2,704	179	410	379	544	561	631	1,732

※血圧の測定値(2回測定の平均値)、質問票(「血圧を下げる薬」の服薬状況)の回答がある者を解析対象とした。

2-1. 高血圧症有病者の状況

表7 高血圧症有病者の比率

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	有病者	2,046	45.1	10	3.3	60	9.5	130	21.9	428	47.2	597	61.4	821	72.3	1,466	49.9
	(うち服薬者)*	1,022	22.5	2	0.7	7	1.1	22	3.7	154	17.0	300	30.9	537	47.3	674	22.9
	正常高値血圧者	663	14.7	21	6.9	73	11.6	111	18.7	165	18.3	154	15.8	139	12.3	499	17.0
	上記以外	1,829	40.3	270	89.7	497	78.9	352	59.4	314	34.6	221	22.7	175	15.4	975	33.2
	総数	4,538	100.0	301	100.0	630	100.0	593	100.0	907	100.0	972	100.0	1,135	100.0	2,940	100.0
男性	有病者	975	53.2	8	6.6	42	19.1	76	35.5	215	59.2	274	66.7	360	71.4	714	59.1
	(うち服薬者)*	457	24.9	2	1.6	4	1.8	13	6.1	76	20.9	130	31.6	232	46.0	312	25.8
	正常高値血圧者	288	15.7	18	14.8	47	21.5	42	19.6	61	16.8	57	13.9	63	12.5	191	15.8
	上記以外	571	31.1	96	78.7	131	59.5	96	44.9	87	24.0	80	19.5	81	16.1	303	25.1
	総数	1,834	100.0	122	100.0	220	100.0	214	100.0	363	100.0	411	100.0	504	100.0	1,208	100.0
女性	有病者	1,071	39.6	2	1.1	18	4.4	54	14.2	213	39.2	323	57.6	461	73.1	752	43.4
	(うち服薬者)*	565	20.9	0	0.0	3	0.7	9	2.4	78	14.3	170	30.3	305	48.3	362	20.9
	正常高値血圧者	375	13.9	3	1.7	26	6.4	69	18.2	104	19.1	97	17.3	76	12.0	308	17.8
	上記以外	1,258	46.5	174	97.2	366	89.3	256	67.5	227	41.7	141	25.1	94	14.9	672	38.8
	総数	2,704	100.0	179	100.0	410	100.0	379	100.0	544	100.0	561	100.0	631	100.0	1,732	100.0

(参考)表8 高血圧症有病者の比率(妊婦除外)

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲) 40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
女性	有病者	1,071	39.9	2	1.1	18	4.6	54	14.2	213	39.2	323	57.6	461	73.1	752	43.4
	(うち服薬者)*	565	21.1	0	0	3	0.8	9	2.4	78	14.3	170	30.3	305	48.3	362	20.9
	正常高値血圧者	375	14.0	3	1.7	26	6.6	69	18.2	104	19.1	97	17.3	76	12.0	308	17.8
	上記以外	1,238	46.1	170	97.1	350	88.8	256	67.5	227	41.7	141	25.1	94	14.9	672	38.8
	総数	2,684	100.0	175	100.0	394	100.0	379	100.0	544	100.0	561	100.0	631	100.0	1,732	100.0

▼「高血圧症有病者・正常高値血圧者」の判定▼

- ・高血圧症有病者：収縮期血圧140mmHg以上、または拡張期血圧90mmHg以上、または血圧を下げる薬を服用している。
※有病者のうち服薬者とは、質問票で「血圧を下げる薬」の服用有と回答した者とし、総数に占める比率を示した。
- ・正常高値血圧者：収縮期血圧130mmHg以上140mmHg未満で、かつ拡張期血圧90mmHg未満の者または、収縮期血圧が140mmHg未満で、かつ拡張期血圧が85mmHg以上90mmHg未満の者。(ただし、薬を服用していない者)

今回の調査結果に平成18年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の20歳以上人口(全体約1億400万人)を乗じて推計したところ、「高血圧症有病者」は約3,970万人、「正常高値血圧者」を合わせると、約5,490万人となった(表9)。

2-2. 高血圧症有病者の推計

表9 高血圧症有病者の推計

	平成18年
「高血圧症有病者」	約3,970万人
「正常高値血圧者」	約1,520万人
「高血圧症有病者」、「正常高値血圧者」の合計	約5,490万人

3. 脂質異常症

表10 解析対象者

(人)

	総数	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	(再掲)40~74歳
男女計	4,304	284	601	570	876	917	1,056	2,809
男性	1,747	115	210	207	351	390	474	1,159
女性	2,557	169	391	363	525	527	582	1,650

※総コレステロール・中性脂肪・HDLコレステロールの測定値、質問票(「コレステロールを下げる薬」の服薬状況)の回答がある者を解析対象とした。

3-1. 脂質異常症が疑われる人の状況

表11 「脂質異常症が疑われる人」の比率

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	脂質異常症が疑われる人	680	15.8	7	2.5	22	3.6	39	6.9	144	16.4	199	21.7	269	25.5	498	17.7
	(うち服薬者)*	450	10.5	0	0.0	5	0.8	18	3.2	99	11.3	139	15.2	189	17.9	334	11.9
	上記以外	3,624	84.2	277	97.5	579	96.3	531	93.2	732	83.6	718	78.3	787	74.5	2,311	82.3
	総数	4,304	100.0	284	100.0	601	100.0	570	100.0	876	100.0	917	100.0	1,056	100.0	2,809	100.0
男性	脂質異常症が疑われる人	296	16.9	6	5.2	16	7.6	25	12.1	66	18.8	79	20.2	104	21.9	216	18.6
	(うち服薬者)*	128	7.3	0	0.0	3	1.4	7	3.4	31	8.8	38	9.7	49	10.3	95	8.2
	上記以外	1,451	83.1	109	94.8	194	92.4	182	87.9	285	81.2	311	79.7	370	78.1	943	81.4
	総数	1,747	100.0	115	100.0	210	100.0	207	100.0	351	100.0	390	100.0	474	100.0	1,159	100.0
女性	脂質異常症が疑われる人	384	15.0	1	0.6	6	1.5	14	3.8	78	14.9	120	22.8	165	28.4	282	17.1
	(うち服薬者)*	322	12.6	0	0.0	2	0.5	11	3.0	68	13.0	101	19.2	140	24.1	239	14.5
	上記以外	2,173	85.0	168	99.4	385	98.5	349	96.1	447	85.1	407	77.2	417	71.6	1,368	82.9
	総数	2,557	100.0	169	100.0	391	100.0	363	100.0	525	100.0	527	100.0	582	100.0	1,650	100.0

▼「脂質異常症が疑われる人」の判定▼

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、脂質異常症の診断基準項目である中性脂肪による判定は行わず、下記の通りとした。

・「脂質異常症が疑われる人」

HDLコレステロールが40mg/dl未満、若しくはコレステロールを下げる薬を服用している者。(採血時間によらず、妊婦含む)

※「脂質異常症が疑われる人」のうち、服薬者とは、質問票で「コレステロールを下げる薬」の服用有と回答した者とし、総数に占める比率を示した。

(参考) 表12 「脂質異常症が疑われる人」の比率(「動脈硬化疾患予防ガイドライン(2007年版)」の基準)

	総数		20-29歳		30-39歳		40-49歳		50-59歳		60-69歳		70歳以上		(再掲)40-74歳		
	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	実数	%	
総数	脂質異常症が疑われる人	1,787	42.2	59	21.1	157	26.3	199	35.4	445	52.2	469	52.3	458	43.9	1,312	47.7
	(うち服薬者)*	205	4.8	0	0.0	4	0.7	12	2.1	48	5.6	60	6.7	81	7.8	150	5.5
	上記以外	2,443	57.8	221	78.9	439	73.7	363	64.6	407	47.8	428	47.7	585	56.1	1,439	52.3
	総数	4,230	100.0	280	100.0	596	100.0	562	100.0	852	100.0	897	100.0	1,043	100.0	2,751	100.0
男性	脂質異常症が疑われる人	809	47.7	30	27.0	91	44.2	105	52.8	190	56.7	201	52.6	192	41.4	584	52.0
	(うち服薬者)*	70	4.1	0	0.0	3	1.5	6	3.0	17	5.1	22	5.8	22	4.7	51	4.5
	上記以外	888	52.3	81	73.0	115	55.8	94	47.2	145	43.3	181	47.4	272	58.6	538	48.0
	総数	1,697	100.0	111	100.0	206	100.0	199	100.0	335	100.0	382	100.0	464	100.0	1,122	100.0
女性	脂質異常症が疑われる人	978	38.6	29	17.2	66	16.9	94	25.9	255	49.3	268	52.0	266	45.9	728	44.7
	(うち服薬者)*	135	5.3	0	0.0	1	0.3	6	1.7	31	6.0	38	7.4	59	10.2	99	6.1
	上記以外	1,555	61.4	140	82.8	324	83.1	269	74.1	262	50.7	247	48.0	313	54.1	901	55.3
	総数	2,533	100.0	169	100.0	390	100.0	363	100.0	517	100.0	515	100.0	579	100.0	1,629	100.0

▼「脂質異常症が疑われる人」の判定▼ (定義)「動脈硬化性疾患予防ガイドライン(2007年版)」の基準

LDLコレステロール(Friedewaldの式で算出)140mg/dl以上、または、中性脂肪150mg/dl以上、または、HDLコレステロール40mg/dl未満

(ただし、採血時間によらず、中性脂肪400mg/dl以上は除外(74名)、妊婦含む。なお、集計対象者のうち、食後6時間以上経過後採血の者は、1,645名。)

※「脂質異常症が疑われる人」のうち、服薬者とは、質問票で「コレステロールを下げる薬」の服用有と回答した者とし、総数に占める比率を示した。

3-1. 「脂質異常症が疑われる人」の推計

今回の調査結果に平成18年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の20歳以上人口（全体約1億400万人）を乗じて推計したところ、「脂質異常症が疑われる人」は約1,410万人となった（表13）。

国民健康・栄養調査の血液検査では、直接法によるLDLコレステロールの測定を行っていない。また、空腹時採血を対象者全員に行うことが困難であるため、食事の影響を受ける中性脂肪及び中性脂肪を用いたLDLコレステロールの計算式（Friedewaldの式）での算出は行わず、HDLコレステロールと服薬状況のみを用いて、「脂質異常症が疑われる人」の判定を行った（表11）。この場合、推計値は、約1,410万人であった。

表13 「脂質異常が疑われる人」の推計

	平成18年
「脂質異常症が疑われる人」	約1,410万人

また、参考値として、食事の影響を受ける中性脂肪を用い、「動脈硬化疾患予防ガイドライン（2007年版）」の基準である中性脂肪、LDLコレステロール、HDLコレステロールを用いた判定を行った（表12）。この場合、推計値は約4,220万人であった。なお、参考値の算出に当たっては、中性脂肪は採血時間によらず使用し、LDLコレステロールはFriedewaldの式で算出した（解析対象者のうち、食後6時間以上経過後採血の者は、1,645名）。

※Friedewaldの式(LDLコレステロール=総コレステロール-HDLコレステロール-中性脂肪/5 (中性脂肪値が400mg/dl未満の場合))

表14 (参考)「脂質異常が疑われる人」の推計

	平成18年
「脂質異常症が疑われる人」	約4,220万人

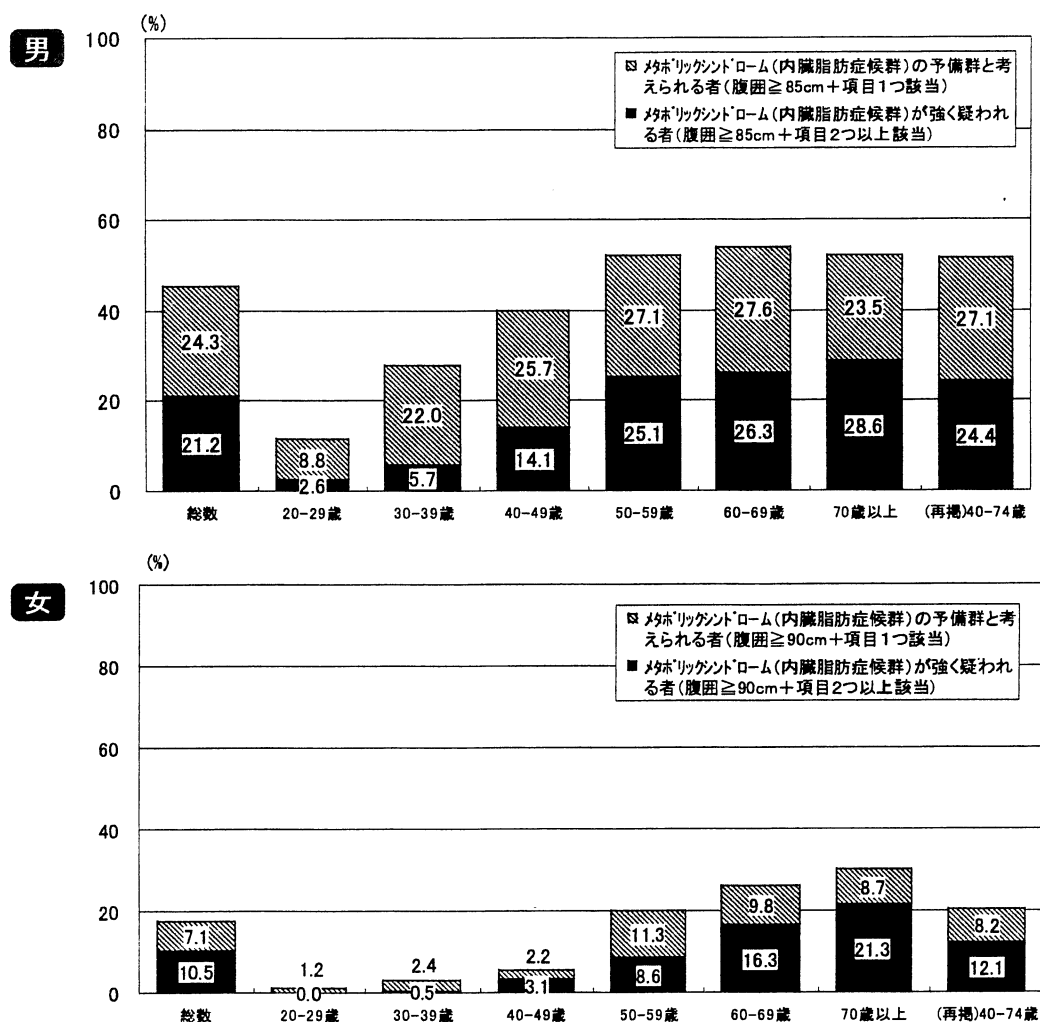
4. メタボリックシンドローム

40～74歳でみると、男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者

20歳以上において、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者の比率は、男性21.2%、女性10.5%、予備群と考えられる者の比率は、男性24.3%、女性7.1%であった。

40～74歳でみると、強く疑われる者の比率は、男性24.4%、女性12.1%、予備群と考えられる者の比率は、男性27.1%、女性8.2%であり、40～74歳男性の2人に1人、女性の5人に1人が、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者又は予備群と考えられる者であった。

図 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の状況 (20歳以上)



※各年代のメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者と予備群と考えられる者について、平成18年10月1日現在推計の男女別、年齢階級別の40-74歳人口(全体約5,700万人中)を用い、それぞれ該当者、予備群として推計したところ、40～74歳におけるメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の該当者数は約960万人、予備群者数は約980万人、併せて約1,940万人と推定される。

(参考) 表15 メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の該当者、予備群の推計 (平成16年,平成17年)

	平成17年	平成16年
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)が強く疑われる者(該当者)	約920万人	約940万人
メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の予備群と考えられる者	約980万人	約1,020万人

“メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑い”の判定

国民健康・栄養調査の血液検査では、空腹時採血が困難であるため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の診断基準項目である空腹時血糖値及び中性脂肪値により判定はしない。したがって、本報告における判定は以下の通りとした。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）が強く疑われる者

腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち2つ以上の項目に該当する者。

※“項目に該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予備群と考えられる者

腹囲が男性85cm、女性90cm以上で、3つの項目（血中脂質、血圧、血糖）のうち1つに該当する者。

腹 囲	腹囲(ウエスト周囲径) 男性:85cm以上 女性:90cm以上		
項目	血 中 脂 質	血 圧	血 糖
基準	・HDLコレステロール値 40mg/dl未満	・収縮期血圧値 130mmHg以上 ・拡張期血圧値 85mmHg以上	・ヘモグロビンA _{1c} 値 5.5%以上
服薬	・コレステロールを下げる薬服用	・血圧を下げる薬服用	・血糖を下げる薬服用 ・インスリン注射使用

(参考：厚生労働科学研究 健康科学総合研究事業「地域保健における健康診査の効率的なプロトコールに関する研究～健康対策指標検討研究班中間報告～」平成17年8月)

※老人保健事業の健康診査では、ヘモグロビンA_{1c}値 5.5%以上を「要指導」としているため、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の疑いに関する判定項目である血糖を“ヘモグロビンA_{1c}値 5.5%”とした。

(参考) メタボリックシンドロームの診断基準

(日本動脈硬化学会、日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本肥満学会、

日本循環器学会、日本腎臓病学会、日本血栓止血学会、日本内科学会、2005年4月)

(※上記との比較のため、記載方法を一部変更し、上記とほぼ同様の様式とした。)

メタボリックシンドローム

内臓脂肪(腹腔内脂肪)蓄積に加え、下記の2つ以上の項目に該当する場合。

※“項目に該当する”とは、下記の「基準」を満たしている場合、かつ/または「服薬」がある場合とする。

内臓脂肪(腹腔内脂肪)蓄積	ウエスト周囲径 男性:85cm以上 女性:90cm以上 (内臓脂肪面積 100cm ² 以上に相当(男女とも))		
項目	血 中 脂 質	血 圧	血 糖
基準	・中性脂肪(TG)値 150mg/dl以上 (高トリグリセライド血症) ・HDLコレステロール値 40mg/dl未満 (低HDLコレステロール血症)	・収縮期血圧値 130mmHg以上 ・拡張期血圧値 85mmHg以上	・空腹時血糖値 110mg/dl以上
服薬	・高トリグリセライド血症に対する薬物治療 ・低HDLコレステロール血症に対する薬物治療	・高血圧に対する薬物治療	・糖尿病に対する薬物治療

* CTスキャンなどで内臓脂肪量測定を行うことが望ましい。

* ウエスト径は立位、軽呼気時、臍レベルで測定する。脂肪蓄積が著明で臍が下方に偏位している場合は肋骨下縁と前上腸骨棘の中点の高さで測定する。

* メタボリックシンドロームと診断された場合、糖負荷試験が薦められるが診断には必須ではない。

* 糖尿病、高コレステロール血症の存在はメタボリックシンドロームの診断から除外されない。

